

STEP 4-1 事業報告

事業の一覧

職場環境の整備

- 1 事業所けんこうレポート
- 2 事業所コラボ活動
- 3 健康経営支援活動
- 4 事業主の会議体への参加
- 6 共同システム

加入者への意識づけ

- 1 健康ポータル（pep up）の利用促進
- 2 健康作りインセンティブ制度
- 3 若年層の健康増進活動
- 4 柔整適正化活動
- 5 不適切な受診者へ照会案内送付
- 6 セルフメディケーションの推進
- 7 健診結果の自宅送付（けんこう宅配便）
- 8 前期高齢者の健康作り支援（健康かわら版）
- 9 医療費削減プロジェクト__前期高齢者対策（ときめき）
- 10 機関誌発行（けんぽニュース）
- 11 健保の情報提供
- 12 退職に伴うセミナー

個別の事業

- 2 特定健診（被保険者）
- 3 特定健診（被扶養者）
- 4 家族の未健診者フォロー（被扶養者）
- 5 特定保健指導（被保険者）
- 6 特定保健指導（被扶養者）
- 7 健診時同時初回面談の推進（特定保健指導）
- 8 保健指導（糖尿病重症化防止活動__診療所）
- 9 生活習慣病健診
- 10 新：郵送健診
- 11 ドック健診
- 12 がん検診（職場）
- 13 33歳人間ドックの無料化
- 14 がん精検受診率
- 15 歯科健診の促進

16	禁煙活動
17	健康作り支援（スポーツジム契約）
18	オンラインジム
19	50歳以上への健康増進活動
20	電話相談（健康相談＆メンタル相談）
21	育児支援
22	講演会やセミナー開催
23	ジェネリックの利用促進
24	安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）
25	利用者の満足度向上（3事業）
26	データヘルス計画推進システムの構築
27	福利厚生（直営保養所・外部リゾート施設契約）
28	健康相談（クリンタル）
29	ポリファーマシー対策
30	重症化予防
31	データの有効活用
32	新：医科歯科連携の包括的な健康づくり実現に向けた口腔ケアの現状把握と促進に関する事業（共同事業）
33	新：子どもを通して家族の健康と生活習慣改善を見直す保健事業（共同事業）
34	新：抗菌薬の適正服薬の啓発
35	新：オンライン女性の健康課題教室（共同事業）
36	新：オンライン介護教室（共同事業）
37	新：メンタル不調者の低減（3者ワンチーム活動）

【保健事業の基盤】 職場環境の整備

1事業名		事業所けんこうレポート							
健康課題との関連		生活習慣病の予防と重症化の予防							
分類									
注1)事業分類	計画	1-イ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	1-イ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	イ, キ, ケ, シ	実施方法	計画	事業所担当者へ送付しレポートからの健康課題を理解してもらう		予算額	1,500千円	
	実績	イ, キ, ケ, シ		実績	事業所担当者へ送付しレポートからの健康課題を理解してもらう				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア, イ	実施体制	計画	各事業所の保健事業担当者が窓口だが、健康課題を解決できるステークホルダーに共有（活用）してもらう体制作りが必要		決算額	966 千円	
	実績	ア, イ		実績	各事業所の保健事業担当者が窓口だが、健康課題を解決できるステークホルダーに共有（活用）してもらう体制作りが必要				
実施計画 (令和6年度)		【目的】 事業所ごとの健康課題を理解してもらう 【概要】 事業所の健康管理課や総務＆人事（保健事業担当者）に健診結果や医療費分析が見える化した事業所レポートを用いて現状把握や今後の課題を示し将来的には健康経営に導く（活用実績あり）。令和1年から健康経営を推進し、レポートを用いて課題解決の方策へ繋げる。R5年度に利用者アンケートを実施して活用状況を調査し要望などを反映してプログラム改修を行う。							
振り返り		実施状況・時期 前年に活用状況アンケートを実施し、事業所の要望など取り入れて新プログラムを作成した。基準値も見直し人間ドック学会の閾値に合わせ3か年の推移がわかるグラフを追加した。健康経営実施事業所には理事長より経営者に直接配信を行った。							
		成功・推進要因 健康経営を推進する上でレポートは有効なツールであり、理事長から経営者に直接送付することで事業所全体で課題の共有が図れる。新プログラムも評判が良い。							
		課題及び阻害要因 産業保健の強化が必要だがまだ進んでいない企業も多い。利用者アンケート調査により担当者の変更などで活用できていないケースがあることが分かった。							

評価	4．80%以上		
事業目標			
事業所の健康課題の解決に利用していただくよう、健康経営を含めた支援ツールとして活用してもらう			
アウトプット指標			
レポートを活用している事業所数（【令和5年度末の実績値】30件【計画値/実績値】令和6年度：30件/32件　【達成度】106.7%）活用している事業所にアンケートを実施し活用状況を調査する。[-]			
アウトカム指標			
優良認定企業所属者割合（【令和5年度末の実績値】91.1%【計画値/実績値】令和6年度：91.1%/93.5%　【達成度】102.6%）優良認定を受けた企業に属する人が健保全体の何パーセントか？　BP：90%、TH：75%[-]			
肥満率（【令和5年度末の実績値】30.8%【計画値/実績値】令和6年度：30.0%/32.1%　【達成度】93.5%）第3期データヘルス計画指標　中計項目：3．生活習慣病の対策を強化[-]			
適正体重者率（【令和5年度末の実績値】63.0%【計画値/実績値】令和6年度：63.0%/60.8%　【達成度】96.5%）第3期データヘルス計画指標　中計項目：3．生活習慣病の対策を強化[-]			
有所見率（【令和5年度末の実績値】38.3%【計画値/実績値】令和6年度：38.0%/40.4%　【達成度】94.1%）第3期データヘルス計画指標　中計項目：3．生活習慣病の対策を強化[-]			
外部委託先	計 画	株式会社JMDC（その他の業務支援）	
	委 託 の 有 無	外部委託した	
	実 績	株式会社JMDC（その他の業務支援）	

2 事業名		事業所コラボ活動							
健康課題との関連		健康意識の向上・生活習慣改善							
分類									
注1)事業分類	計画	1-エ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	1-エ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				

共同事業		共同事業ではない		PFS事業		PFS事業ではない	
事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 被保険者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 被保険者					
注2)プロセス分類	計画 エ ， オ ， キ ， ク ， ケ ， サ	実施方法	計画	①日産および日産九州は各診療所が母体企業と連携しコラボ企画の計画・立案・効果検証までを必須とする ②日産および日産九州以外の関連企業はコラボ企画書の計画・立案をサポートし効果検証までを必須とする		予算額	6,000千円
	実績 エ ， オ ， キ ， ク ， ケ ， サ		実績	①日産および日産九州は各診療所が母体企業と連携しコラボ企画の計画・立案・効果検証までを必須とする ②関連企業はコラボ企画書の計画・立案をサポートし効果検証までを必須とする			
注3)ストラクチャー分類	計画 ア ， イ ， ウ ， コ	実施体制	計画	①日産および日産九州は診療所・主管部部署と活動内容について話し合い、連携しながら活動を計画・実施する。健保推進室よりコラボ企画書の提出を促し費用補助を行う。 ②日産および日産九州以外の関連企業は健保事業部よりコラボ企画書の提出を促し費用補助を行う。		決算額	8,333 千円
	実績 ア ， イ ， ウ ， コ		実績	①診療所・主管部部署と活動内容について話し合い、連携しながら活動を計画・実施する。健保推進室よりコラボ企画書の提出を促し費用補助を行う。 ②関連企業は健保事業部よりコラボ企画書の提出を促し費用補助を行う。			

実施計画 (令和6年度)	【目的】事業所と協働で健康づくり活動を行うことで、より効果の高い保健事業を行う 【概要】①毎月診療所と事業所主幹部署との話し合いの場を設け活動の計画や評価を行う。 ②日産および日産九州以外の関連企業は、各事業所の健康づくり担当者に企画のサポートを行い効果的なイベント策定を狙う
振り返り	実施状況・時期 ①禁煙・メタボ・シニア体力維持向上・ポータルサイト普及活動は、コロナ感染症防止や在宅勤務者対応を考慮しつつ、できうる範囲での活動を行った。特に、オンラインセミナーや動画配信などを導入し、非接触型のイベントを導入し多様な環境下での活動を可能にした。②40企画（33事業所）開催。健康経営の推進と共に実施数が増加した。 成功・推進要因 ①関心の高いアイテム（女性の健康課題や健康測定器など）を集め全社展開を行い、実施に向けサポートした。②事業所の特色に合わせた活動を提案、担当者へのサポートを行った。 課題及び阻害要因 小規模事業所など担当者のマンパワー不足の事業所に対し、活動推進をより手厚くサポートする
評価	4．80%以上

事業目標	
【目標】①各診療所全体での健康活動実施率 ②コラボ活動事業所数（予算内計画実施率）	
アウトプット指標 日産診療所の健康イベント計画数（【令和5年度末の実績値】123件【計画値/実績値】令和6年度：123件/70件 【達成度】56.9%）①事業所コラボイベント件数[-] コラボ参画事業所数（【令和5年度末の実績値】32件【計画値/実績値】令和6年度：32件/40件 【達成度】125.0%）②コラボ参画事業所数（予算内計画実施率）：計画事業所数（FY23実績）[-]	
アウトカム指標	なし (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	未定
	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

3	事業名	健康経営支援活動
健康課題との関連		生活のQOLの向上

分類															
注1)事業分類	計画	1-ウ, 1-エ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存						
	実績	1-エ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業										
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない								
事業の内容															
対象者	計画	対象事業所 一部の事業所 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 その他													
	実績	対象事業所 一部の事業所 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 被保険者													
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	健康経営について意識確認し、調査票の作成をサポートする専門業者を健保予算で担う	予算額			9,000千円						
	実績	ス		実績	健康経営について意識確認し、調査票の作成をサポートする専門業者を健保予算で担う										
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	事業所のステークホルダーが健康経営の必要性を認識し、活動はトップダウンで実施することが必須	決算額			8,525 千円						
	実績	ア		実績	事業所のステークホルダーが健康経営の必要性を認識し、活動はトップダウンで実施することが必須										
実施計画 (令和6年度)		【目的】健康経営という概念を理解して会社が従業員の健康をサポートする体制を整える 【概要】企業に健康経営宣言を促すために健保が健康経営の参画についてサポートし、健康経営申請は、申請に必要なノウハウを支援する専門業者を派遣する。													
振り返り		実施状況・時期 健保は健康経営を推進し、健保事業として年度計画をたて申請までのサポートを行っている。今年度は新規申請が4社あったが、優良認定を受けたのは3社であった。全体では、申請32社（大規模22社、中小10社）W500 9社 ブライト1社 ネクストブライト2社 中小のうち2社が優良認定を逃した 成功・推進要因 NML主体の意見交換会で、課題の共有や情報公開の共有ができており、グループとして健康経営の士気が高まってきている。また担当者が定着している事業所は、申請までのプロセスなどの理解などが充分で安心材料となる。 課題及び阻害要因 未申請の事業所はグループの求心力が弱いのが課題である。また担当者の変更や経営者の理解が得られない事業所は推進力が弱い。													
評価		4. 80%以上													
事業目標															

【目標】健康経営新規申請書提出企業数 BP:プラス4事業所 TH:プラス1事業所

アウトプット指標

健康経営新規申請書の提出企業数（【令和5年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和6年度：4社/4社 【達成度】100.0%）健康経営新規申請書提出企業数 BP:プラス4事業所 TH:プラス1事業所 [-]

アウトカム指標

優良認定企業所属者割合（【令和5年度末の実績値】91.1%【計画値/実績値】令和6年度：90%/93.5% 【達成度】103.9%）優良認定を受けた企業に属する人が健保全体の何パーセントか？ BP：90%、TH：75%[-]

Well Being運動（【令和5年度末の実績値】32.1%【計画値/実績値】令和6年度：31.0%/34.3% 【達成度】110.6%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：11. 本人・家族のWell Beingに貢献[2024/2月登録まで]

Well Being運動（【令和5年度末の実績値】53.6%【計画値/実績値】令和6年度：56.5%/52.5% 【達成度】92.9%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：11. 本人・家族のWell Beingに貢献[2024/2月登録まで]

Well Being運動（【令和5年度末の実績値】63.8%【計画値/実績値】令和6年度：70.0%/63.3% 【達成度】90.4%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：11. 本人・家族のWell Beingに貢献[2024/2月登録まで]

外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する
	委託の有無	外部委託した
	実績	外部委託先事業者 登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

4 事業名		事業主の会議体への参加							
健康課題との関連		該当なし							
分類									
注1)事業分類	計画	1-ア	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存

	実績	1-ア		実績	3．健保組合と事業主との共同事業				
共同事業		共同事業ではない				PFS事業		PFS事業ではない	
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～64 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～64 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ケ,シ	実施方法	計画	①健康経営推進会議 ②健康経営企画会議 ③統括産業医と日産健康管理部定例会議 ④産業医会議（日産健康管理部・健保事務局） ⑤随時会議 ⑥関連会社人事役員会議 ⑦日産グループ健康経営推進会議			予算額	0千円
	実績	ケ,シ		実績	①健康経営推進会議 ②健康経営企画会議 ③統括産業医と日産健康管理部定例会議 ④産業医会議（日産健康管理部・健保事務局） ⑤随時会議 ⑥関連会社人事役員会議 ⑦事業所担当者 情報交換会				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,ウ	実施体制	計画	定例会ではメンバー登録、不定期会には情報を入手する必要がある			決算額	0 千円
	実績	ア,イ,ウ		実績	定例会ではメンバー登録、不定期会には情報を入手する必要がある				

実施計画 (令和6年度)	①健康経営推進会議 ②健康経営企画会議 ③統括産業医と日産健康管理部定例会議 ④産業医会議（日産健康管理部・健保事務局） ⑤随時会議 ⑥関連会社人事役員会議 ⑦日産グループ健康経営推進会議 ①～④ 1回/月 ⑤随時 目的共有・報告の場を設け健康経営に向けた活動を円滑に行えるようにする。
振り返り	実施状況・時期 ⑤以外は定例参加 ⑦日産G健康経営会議として年3回、日産の健康管理室が主体となり関係会社を含めた健康経営優良法人申請の結果など持ち寄って情報交換を行っている。健保の理事長も参加している会議体である。 成功・推進要因 ①～④、⑥は事前に課題の提案をし、発表時間をもらって健保事業の理解と協力を求めることができている。 課題及び阻害要因 ⑥健保主体で行っているものではないため、関係会社との連絡会は健保主体で行う定例会などの体制樹立が望ましい。
評価	5．100%
事業目標	
組合員の健康づくりを協働して行うための協力を求めたい。定期会議には参加し、事業への理解を深めたい。	
アウトプット指標 定例会への参加（【令和5年度末の実績値】12回【計画値/実績値】令和6年度：12回/12回 【達成度】100.0%）①～④は定例会に健保職制が毎月参加する。[①10回 ②～④12回] 会議体への参加（【令和5年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和6年度：1回/1回 【達成度】100.0%）⑥は課題を提出し、理解または協力を仰ぐ。[⑥4回] 事業所担当者との情報交換会（【令和5年度末の実績値】2回【計画値/実績値】令和6年度：2回/3回 【達成度】100.0%）⑦は日産自動車健康管理室が主体となり健康経営を推進している事業所が参画し、安全管理室や健康管理室の保健師または総務人事課などの事業所健康経営担当者が健康経営推進のための情報交換をする[⑦3回] アウトカム指標 なし (アウトカムは設定されていません)	
計画	未定

外部委託先	実績	委託の有無	外部委託していなかった
-------	----	-------	-------------

6 事業名	共同システム									
健康課題との関連	該当なし									
分類										
注1)事業分類	計画	1-エ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存	
	実績	1-エ		実績	1. 健保組合					
共同事業	共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容										
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 基準該当者								
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,被扶養者,任意継続者								
注2)プロセス分類	計画	イ,カ,ク	実施方法	計画	健診データは、随時取り込みを行い、月次締めで抽出する。国への報告は年次処理。			予算額	2,600千円	
	実績	イ,カ,ク		実績	健診データは、随時取り込みを行い、月次締めで抽出する。国への報告は年次処理。					
注3)ストラクチャー分類	計画	カ	実施体制	計画	診療所・関連企業・家族の健診データを取り込むため、分担して入力している			決算額	2,464 千円	
	実績	カ		実績	診療所・関連企業・家族の健診データを取り込むため、分担して入力している					
実施計画 (令和6年度)	システムの導入により健診結果の階層化および特定保健指導の判定が容易になるうえレセプト管理システムとの連携で他健保情報も入手できる									
振り返り	実施状況・時期		特定健診・特定保健指導の国報告には欠かせないシステム							
	成功・推進要因		健保から健診結果のお知らせやけんこうレポートを作成する際に必要なシステム							
	課題及び阻害要因		データ登録、抽出ともに課題が多い利用時間の制限や抽出結果が翌日など改善してもらいたい点が多い。							
評価	3. 60%以上									
事業目標										

【目標】健診後に結果のお知らせ（PepUp閲覧、けんこう宅配便）発行までをスピーディーに行うために、健診データの取り込みと抽出を計画通り行い保健指導までつなげていく。

アウトプット指標 健診結果の抽出（【令和5年度末の実績値】10回【計画値/実績値】令和6年度：10回/10回 【達成度】100.0%）データ取り込みと掃き出しは計画通り行う。[-]

アウトカム指標 なし
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する
	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

【保健事業の基盤】 加入者への意識づけ

1 事業名	健康ポータル (pep up)の利用促進								
健康課題との関連	健康意識の向上・生活習慣改善								
分類									
注1)事業分類	計画	2,5-ア,5-イ,5-ウ,5-エ,5-オ,5-カ,5-キ,5-ク,5-ケ,5-コ,5-ス,5-セ	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2,5-ア,5-イ,5-ウ,5-エ,5-オ,5-カ,5-キ,5-ク,5-ケ,5-コ,5-ス,5-セ		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業				
共同事業	共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない			
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 被保険者,被扶養者,基準該当者,任意継続者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 被保険者,被扶養者,基準該当者,任意継続者							
注2)プロセス分類	計画	ア,イ,ウ,エ,ケ	実施方法	計画	①PHRを利用し健康リテラシーの向上を図る。 ②Pep内でイベントを開催し活用率を図る。年間計画しているイベントへの参加率を測定する。		予算額	10,000千円	

	実績	ア,イ, ウ,エ, ケ		実績	①総合率＝登録率×活用率で指標を持ち40%を目指す。 ②Pep内でイベントを開催し活用率を図る。年間計画しているイベントへの参加率を測定する。		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ, カ,ケ	実施体制	計画	年間計画や告知を工夫し事業所への協力を促進する。また、被扶養者にも参加促進をする。	決算額	10,134 千円
	実績	ア,イ, カ,ケ		実績	年間計画や告知を工夫し事業所への協力を促進する。また、被扶養者にも参加促進をする。		
実施計画 (令和6年度)	【目的】健康意識を高め、インセンティブを付与し、継続した健康活動へつなげる。 【概要】ICTの活用により健保からの情報提供も容易に行える仕組みの基盤づくりとする。 日産及び日産九州は診療所、日産及び日産九州以外の関連企業は事業所担当者の協力を促進する。						
振り返り	実施状況・時期		利用率 日産本人：40.1%、関係本人：27.1%、家族：24%				
	成功・推進要因		日産および一部事業所は登録率を目標に掲げて活動を行った。家族登録率向上のため情報提供を数回行った。				
	課題及び阻害要因		事業所により温度差が大きい家族の登録率向上はハードルが高い健康不活発者への訴求が難しい				
評価	4．80%以上						
事業目標							
【目標】登録率：毎月事業所ごとの比較グラフを用いて事業所展開を行う。 統合率：イベント（年間5回）の参加率を測定する。日産本人BP:30.0%以上・関係会社本人 25.0%以上、家族 23%以上							
アウトプット指標							
利用率（【令和5年度末の実績値】40.1%【計画値/実績値】令和6年度：34%/30.8%【達成度】90.6%）日産本人 利用率 BP:30.0%、TH:23.0%[-] 利用率（【令和5年度末の実績値】27.1%【計画値/実績値】令和6年度：24%/22.6%【達成度】94.2%）関係会社本人 利用率 BP:25.0%、TH:18.0%[-] 利用率（【令和5年度末の実績値】24.0%【計画値/実績値】令和6年度：21%/16.1%【達成度】76.7%）家族 利用率 BP:23.0%、TH:16.0%[-] 総合率（【令和5年度末の実績値】26.2%【計画値/実績値】令和6年度：27.6%/29.8%【達成度】108.0%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：7. 健康リテラシーを向上 日産本人[-] 総合率（【令和5年度末の実績値】22.4%【計画値/実績値】令和6年度：20.3%/21.9%【達成度】107.9%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：7. 健康リテラシーを向上 関連本人[-] 総合率（【令和5年度末の実績値】11.4%【計画値/実績値】令和6年度：12.0%/23.6%【達成度】196.7%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：7. 健康リテラシーを向上 家族[-]							
アウトカム指標		なし (アウトカムは設定されていません)					
外部委託先	計画	株式会社JMDC（健康づくり事業）					
	実績	委託の有無	外部委託した				
		外部委託先事業者	株式会社JMDC（健康づくり事業）				
2	事業名	健康作りインセンティブ制度					
健康課題との関連		健康意識の向上・生活習慣改善					

分類									
注1)事業分類	計画	2,3-ア, 3-イ, 4-ア, 5-イ, 5-ウ, 5-エ, 5-オ	実施主体	計画	1・健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2, 3-ア, 3-イ, 4-ア, 5-イ, 5-ウ, 5-エ, 5-オ		実績	1・健保組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 被保険者,被扶養者,任意継続者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 被保険者,被扶養者,基準該当者,任意継続者							
注2)プロセス分類	計画	ア,エ, キ,シ	実施方法	計画	内製で作成している。		予算額	340,100千円	
	実績	ア,エ, キ,シ		実績	内製で作成している。				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ, ケ	実施体制	計画	PepUp利用者は活動実績をインセンティブに変換できる。		決算額	357,529 千円	
	実績	ア,イ, ケ		実績	PepUp利用者は活動実績をインセンティブに変換できる。				
実施計画 (令和6年度)	【目的】 生活習慣改善への意識向上 【概要】 PepUpを用いてインセンティブを付与する。 ①1年間医療費が0のもの②健康年齢改善③健診結果改善④非喫煙者⑤人間ドッグ、歯科検診受診⑥スポーツジム利用⑦保養所利用 ⑧Pepイベント参加⑨事業所単位健康づくり活動への付与								
振り返り	実施状況・時期 PepUpポイント付与時期を設定し、月ごと、年次など計画的に実施できた。 成功・推進要因 年次計画とプロセス管理により実施できた。 課題及び阻害要因 インセンティブによる効果を期待するが、未登録者もいるため登録率及びイベント参加率の向上も注力が必要。登録のみで未活用者もいるため、未活用者へのアプローチが課題								
評価	4．80%以上								
事業目標									

【目標】 各担当がタイムリーに集計し、合算pointを付与する。①年間1回、②,③,④健診結果後、⑤受診後集計、⑥,⑦都度利用後、⑧,⑨活動実施後

アウトプット指標 ポイント付与計画実施率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）◆毎月発行 12回／年◆[-]

アウトカム指標 健康年齢若さ率（【令和5年度末の実績値】63%【計画値/実績値】令和6年度：69%/60.2% 【達成度】87.2%）健康年齢若さ率：全体 BP:69.0%、TH:66.0%[-]
 健康年齢若さ率（【令和5年度末の実績値】65.8%【計画値/実績値】令和6年度：69%/64.0% 【達成度】92.8%）健康年齢若さ率：日産本人 BP:69.0%、TH:66.0%[-]
 健康年齢若さ率（【令和5年度末の実績値】59.3%【計画値/実績値】令和6年度：69%/57.4% 【達成度】83.2%）健康年齢若さ率：関係会社本人 BP:69.0%、TH:66.0%[-]
 健康年齢若さ率（【令和5年度末の実績値】60.0%【計画値/実績値】令和6年度：69%/61.8% 【達成度】89.6%）健康年齢若さ率：家族 BP:69.0%、TH:66.0%[-]

外部委託先	計画	株式会社JMDC（健康づくり事業）	
	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	株式会社JMDC（健康づくり事業）

3 事業名		若年層の健康増進活動							
健康課題との関連		性差や年齢による健康課題							
分類									
注1)事業分類	計画	5-イ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	5-イ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～39 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～39 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	エ，キ，ク，ケ，サ	実施方法	計画	eラーニングを作成し若年層に健康教育を行う。各地区毎に行っていた保健指導と統一プログラム化し、全地区共通の内容で若年層に向けた健康増進活動を実施し、3か月後、6か月後にアンケート評価を行う。			予算額	15,000千円

	実績		実績	eラーニングを作成し若年層に健康教育を行う。各地区毎に行っていた保健指導と統一プログラム化し、全地区共通の内容で若年層に向けた健康増進活動を実施し、3か月後、6か月後にアンケート評価を行う。		
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	事業主との連携の他、診療所間での連携を行う。	決算額	14,595 千円
	実績		実績	事業主との連携の他、診療所間での連携を行う。		
実施計画 (令和6年度)	日産診療所のスタッフ（専門職）がプロジェクトチームを作り、健康情報のeラーニングを作成する。40歳以下の若年層のヘルスリテラシーの向上を狙い社内イントラのeラーニングシステムにUPし、eラーニングを実施。eラーニング対応できない対象者に対しても職場でのDVD等による教育を実施した。					
振り返り	実施状況・時期 母体企業のeラーニングシステムを用いて実施を行い、eラーニング対応できない人には集合教育を実施。リテラシーの測定も行った。 成功・推進要因 社内イントラの利用ができない方へは集合教育を実施したことで広く教育することができた。またリテラシーの測定を行うことで今後課題にもつなげられる。 課題及び阻害要因 単年活動ではなく活動途中のため課題の明確化までには及んでいないが、集合教育の際は生産負荷によって実施ができないことも想定される。					
評価	5．100%					
事業目標						
計画実施率 教育の実施とフォロー、後日アンケート回収を行う BP:99%、TH:95%						
アウトプット指標 計画実施率（【令和5年度末の実績値】99%【計画値/実績値】令和6年度：99%/99% 【達成度】100.0%）-[-]						
アウトカム指標						
40歳時点の特保者率（【令和5年度末の実績値】22.2%【計画値/実績値】令和6年度：22.2%/23.5% 【達成度】94.5%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：5. 若年層（40歳未満）の健康増進活動を強化[-]						
	計画	未定				

外部委託先	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

4	事業名	柔整適正化活動							
健康課題との関連		該当なし							
分類									
注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	2		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	イ, ク, ス	実施方法	計画	受診状況や保険給付金額の進捗を確認しながら柔整を利用されている方へ柔整のかかり方について啓発する		予算額	3,000千円	
	実績	イ, ク, ス		実績	受診状況や保険給付金額の進捗を確認しながら柔整を利用されている方へ柔整のかかり方について啓発する				
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	委託業者を活用し初検者へのチラシ送付や年度計画に基づく柔整版医療費通知を発行する		決算額	2,488 千円	
	実績	シ		実績	委託業者を活用し初検者へのチラシ送付や年度計画に基づく柔整版医療費通知を発行する				
実施計画 (令和6年度)		年度計画に基づき、初検者へのチラシ送付や柔整版医療費通知を発行する。							

振り返り	実施状況・時期	
	初めて受療した方全員に正しい柔整のかかり方を周知するためのチラシをメール便にて送付。受療内容の確認が必要な方については、上記のチラシを同封のうえ、施術部位や施術内容、負傷原因などの照会文書を送付。年1回秋に柔整版の医療費通知を送付し適正化を図る。	
	成功・推進要因	受療者へ正しい柔整のかかり方のチラシや柔整版医療費通知などを送付し適正化（適正受診）を図れた。
	課題及び阻害要因	部位転がし等による長期受療者への対応。 自費と健康保険適用の混在

評価	5 . 100%
----	----------

事業目標

医療費適正化活動

- ①柔整初検者チラシ送付（各月1回）
②柔整版医療費通知の送付__年1回

アウトプット指標

柔整医療費適正化活動（【令和5年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和6年度：1回/1回 【達成度】100.0%））柔整版医療費通知1回/年[-]

柔整受療にかかる適正化活動①（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）初回受診時に適正受診チラシを送付（月次で対象者を選定し送付する）活動実施率[-]

アウトカム指標 なし
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する
	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

5	事業名	不適切な受診者へ照会案内送付
健康課題との関連		該当なし
分類		

注1)事業分類	計画	2,3-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	2,3-ク		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない				PFS事業		PFS事業ではない	
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	イ,ク	実施方法	計画	時間外受診者へ啓発用シーラーハガキを送付し注意喚起を行う。改善活動後のレセプト全件数に対する時間外受診レセプト件数の割合の合計の推移について月次報告する。			予算額	2,314千円
	実績	イ,ク		実績	時間外受診者へ啓発用シーラーハガキを送付し注意喚起を行う。改善活動後のレセプト全件数に対する時間外受診レセプト件数の割合の合計の推移について月次報告する。				
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	目標値を定め、月次報告会で進捗の報告を行う。			決算額	1,043 千円
	実績	シ		実績	目標値を定め、月次報告会で進捗の報告を行う。				
実施計画 (令和6年度)		計画的な啓発活動を行うために、レセプト全件数に対する時間外受診有レセプト割合をマイルストーンを引いて月次で設定し、報告会議にて進捗管理を行う。							
振り返り		実施状況・時期 各月のレセプト全件数に占める時間外受診有りのレセプト割合について月次報告し、進捗管理ならびに状況把握を行う。また、レセプト分析から対象期間において不要不急の可能性が高い時間外受診者を抽出し、9月末に啓発用シーラーハガキを送付して時間外受診者の低減を図った。							
		成功・推進要因 ベンチマークでは、当健保は他健保と比較して時間外受診の割合が低いことが判明。啓発用通知の効果が一定程度あったものと考えられる。							
		課題及び阻害要因 時間外受診者の割合については、アフターコロナにより少しずつ増加傾向が見られる。通知の効果はあると思われるが、その効果も限定的と考える。							
評価		5. 100%							
事業目標									

【目的】不適切な受診行動を抑制し医療費の適正化を図る
 【概要】時間外受診している患者へR6/9月に啓発用シーラーハガキを送付する
 【目標値】マイルストーン BP:3.06%以下

アウトプット指標

計画実施率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）不適切受診の改善活動（啓発用シーラーハガキの送付【年1回】）（令和5年度：9/29実施 2,513件 【達成度】100%/100%）
 [令和6年度：9/30実施 2,832件]
 月次報告（【令和5年度末の実績値】11回【計画値/実績値】令和6年度：11回/11回 【達成度】100.0%）月次報告：令和5年度11回/11回 [令和6年度11回/11回]
 対象者率（【令和5年度末の実績値】3.06%【計画値/実績値】令和6年度：3.06%/3.22% 【達成度】95.0%）【計画値/実績値】令和5年度 BP:3.1%/ TH:3.5% [令和6年度 BP:3.06 実績3.22%]

アウトカム指標

なし
 (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	株式会社エム・エイチ・アイ（データヘルス計画策定支援）
	委託の有無	外部委託した
	実績	外部委託先事業者 株式会社エム・エイチ・アイ（データヘルス計画策定支援）

6事業名	セルフメディケーションの推進
健康課題との関連	該当なし
分類	

注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	2		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない			
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	キ, ク	実施方法	計画	セルフメディケーションの利用推進を目的とし、様々な機会を活用した周知・広報の実施			予算額	6,300千円
	実績	キ, ク		実績	セルフメディケーションの利用推進を目的とし、様々な機会を活用した周知・広報の実施				
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	アレルギー疾患（花粉症）でOTC医薬品にスイッチできる対象者を抽出し個別通知を発送			決算額	4,229 千円
	実績	シ		実績	アレルギー疾患（花粉症）でOTC医薬品にスイッチできる対象者を抽出し個別通知を発送				
実施計画 (令和6年度)	セルフメディケーションについて広く広報を行う。また、メルマガや個別勧奨通知にクーポン券を付与し、利用促進の動機付けをする								
振り返り	実施状況・時期 セルフメディケーション事業については、日産健保加入者向けWebサイト「あなたの薬箱」の効果的な活用をHPやメルマガ、高齢者向け媒体等で年間を通して周知を図った。12月にOCT医薬品（花粉症、肌荒れ、湿疹、肩こり、腰痛）の個別勧奨通知の送付を行った。								
	成功・推進要因 委託業者と連携し、スケジュールを立てて加入者への周知・広報に努めた。また、OTC医薬品の購入に使用できるクーポン券を付与し、利用促進ならびに利用者の拡大に努めた。								
	課題及び阻害要因 個別通知といったアナログでのアプローチを行うと、登録者数に一定の増加が見られる。ただし、クーポン券等のインセンティブを与えないと登録者数の増加にはなかなか結び付かない。								
評価	5. 100%								
事業目標									

広報活動 年8回以上実施

【計画値/実績値】 令和6年度 8回/8回（メルマガ配信5回、かわら版発行1回、けんぽニュース掲載1回、個別勧奨通知発送1回

アウトプット指標

計画実施率（【令和5年度末の実績値】-【計画値/実績値】 令和6年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）セルフメディケーションの利用促進を目的とした後方計画の完了[個別勧奨通知発送回数1回（5,259通）]

アウトカム指標

なし

(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	ホワイトヘルスケア株式会社（その他の業務支援）	
	委託の有無	外部委託した	
	実績 外部委託先事業者	ホワイトヘルスケア株式会社（その他の業務支援）	

7事業名		健診結果の自宅送付（けんこう宅配便）						
健康課題との関連		健康意識の向上・生活習慣改善						
分類								
注1)事業分類	計画 2,3-ア,4-カ,5-イ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存

	実績	2, 3- ア, 4- カ, 5- イ		実績	1. 健 保組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40 ～ 74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40 ～ 74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ア,オ	実施方法	計画	健診実施者へ3カ年の健診結果をグラフ化し、健康年齢表示などの情報提供を自宅へ送付。（PepUp登録者を除く）内製で作成している。			予算額	5,000千円
	実績	ア,オ		実績	健診実施者へ3カ年の健診結果をグラフ化し、健康年齢表示などの情報提供を自宅へ送付。（PepUp登録者を除く）内製で作成している。				
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	40歳以上、特定健診の結果をもとに共同システムから健診データを出力し、データ加工したうえで、配送は外注化している。			決算額	4,493 千円
	実績	シ		実績	40歳以上、特定健診の結果をもとに共同システムから健診データを出力し、データ加工したうえで、配送は外注化している。				
実施計画 (令和6年度)		【目的】生活習慣改善への動機づけを図る。健康年齢と実年齢との差を表示することで、健康行動変容へつなげる。 【概要】健診実施者へ3カ年の健診結果をグラフ化し、自宅へ送付。（PepUp登録者を除く）							
振り返り		実施状況・時期 月次で健診データ登録分を抽出し、年次計画を持って実施できている。独自のリスク階層の表現から健康年齢の表現にシフトチェンジしたことで定量的なリスクの見える化が実現できた。							
		成功・推進要因 発行は年次計画を持って進めている。3カ年の経年比較が可能（健診機関の変更は経年経過がわからない）健康年齢という指標を用いて生活習慣病リスクを表現している（定量的な表現）							
		課題及び阻害要因 健診から発送までのタイムラグは要再検査への受診促進が遅れる原因となる。							
評価		5. 100%							
事業目標									

発行回数 2回／年

アウトプット指標 送付回数（【令和5年度末の実績値】2回【計画値/実績値】令和6年度：2回/2回 【達成度】100.0%）2回／年[-]**アウトカム指標**

健康年齢若さ率（【令和5年度末の実績値】69%【計画値/実績値】令和6年度：69%/60.2% 【達成度】87.2%）JMDCの健康年齢において、実年齢より健康年齢が若い人の割合を示す。[-]

外部委託先	計画	未定
	委託の有無	外部委託した
	実績	外部委託先事業者 株式会社JMDC（重症化予防）

8	事業名	前期高齢者の健康作り支援（健康かわら版）						
健康課題との関連		性差や年齢による健康課題						
分類								
注1)事業分類	計画 2,3- オ,3- キ,3- ク,5- コ,5- シ,5- ス,5- セ	実施主体	計画	1・ 健保 組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存

	実績	2, 3- オ, 3- キ, 3- ク, 5- コ, 5- シ, 5- ス, 5- セ		実績	1 . 健保 組合				
共同事業	共同事業である				PFS事業	PFS事業ではない			
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 60 ～ 64 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 60 ～ 64 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	2回／年 自宅送付 見やすく読みやすい記事づくりで情報提供し、けんぽ情報も織り込む			予算額	4,300千円
	実績	ス		実績	2回／年 自宅送付 見やすく読みやすい記事づくりで情報提供し、けんぽ情報も織り込む				
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	社会保険に強い業者に業務委託し、けんこう記事を年間計画に基づいて発行し、自宅配布を行う。			決算額	2,434 千円
	実績	シ		実績	社会保険に強い業者に業務委託し、けんこう記事を年間計画に基づいて発行し、自宅配布を行う。				
実施計画 (令和6年度)	【目的】健康作りの情報提供により生活習慣改善への取り組みに繋げる 【概要】①健康作り情報や生活習慣改善の取り組みを2回／年を自宅へ送付 60－64の家族のいる世帯へ1冊 ②診療所・健診ホール・保養所でも読み物として設置								
振り返り	実施状況・時期 2回／年実施健康に関するタイムリーな話題をわかりやすい紙面で情報提供する。他健保との共同事業とする。								
	成功・推進要因								
	前期高齢者アンケート調査で「けんこうかわら版」への満足度が高いことがわかった。かわら版に関する単独調査でなかったため、直接的な集計結果ではないが、いつも読んでいますといった生の声が多く聞かれた。コツコツと継続することがリテラシーの向上につながる								
	課題及び阻害要因 引き続きかわら版に関するアンケートを行い満足度や要望を把握しリテラシー向上につなげる								
評価	5 . 100%								
事業目標									

2回／年発行		
アウトプット指標 計画実施率（【令和5年度末の実績値】75%【計画値/実績値】令和6年度：75%/100% 【達成度】133.3%）計画実施率 年間2回発行[-]		
アウトカム指標		
前期高齢者一人当たり総医療費（【令和5年度末の実績値】339,754円【計画値/実績値】令和6年度：339,754円/350,895円 【達成度】96.8%）前期高齢者一人当たり医療費 前年度実績以下[-] 加入者一人当たり医療費（【令和5年度末の実績値】179,340円【計画値/実績値】令和6年度：184,720円/180,051円 【達成度】102.6%）加入者/総医療費 月報報告値 目標値FY23×103%[-]		
外部委託先	計画	株式会社 社会保険研究所（健康づくり事業）
	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	株式会社 社会保険研究所（健康づくり事業）

9	事業名	医療費削減プロジェクト_前期高齢者対策（ときめき）							
健康課題との関連		性差や年齢による健康課題							
分類									
注1)事業分類	計画	5-ス	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	4-ア, 4-オ, 4-カ		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 65～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 65～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ア,オ	実施方法	計画	①重症化防止対策（中計・医療費推移等） ②個別のフィードバックシート「ときめき」発行 ②ときめきの発行を外注化する		予算額	3,200千円	
	実績	ア,オ		実績	①重症化防止対策（中計・医療費推移等） ②個別のフィードバックシート「ときめき」発行 ②ときめきの発行を外注化する				

注3)ストラクチャー分類	計画	キ,ケ	実施体制	計画	①進捗管理 月次報告 ②ときめき発行 ③ときめきの発行を外注化する。	決算額	2,767 千円
	実績	キ,ケ		実績	①進捗管理 月次報告 ②ときめき発行 ③ときめきの発行を外注化する。		

実施計画 (令和6年度)	【目的】 重症化を予知・予防し、入院や高額療養者の抑制をする 【概要】 ①中計：前期高齢者医療費など適宜分析を行う。 ②FY23の健診結果をもとに「ときめき」を発行する。 ③ときめきの発行を外注化する						
-----------------	---	--	--	--	--	--	--

振り返り	実施状況・時期	①②③は実施①月次で推移を管理、報告 全年代に拡大した。②および③は2023／11月～3か月ごとに発行					
	成功・推進要因	①年間目標を持ち、月次管理している					
	課題及び阻害要因						

評価	5. 100%
----	---------

事業目標

65歳以上を対象に健診受診勧奨、重症化防止を強化するため重点課題として取り組む。

アウトプット指標 前期高齢者対策活動計画実施率（【令和5年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和6年度：1回/1回 【達成度】100.0%）ときめき発行 1回以上[-]

アウトカム指標

前期高齢者一人当たり総医療費（【令和5年度末の実績値】339,754円【計画値/実績値】令和6年度：339,754円/350,895円 【達成度】96.8%）前期高齢者一人当たり医療費 前年度実績以下[-]

適正体重者率（【令和5年度末の実績値】63%【計画値/実績値】令和6年度：63%/60.8% 【達成度】96.5%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：8. 40歳以上の健康増進活動を推進、高齢者の増加に対応[-]

有所見率（【令和5年度末の実績値】38.3%【計画値/実績値】令和6年度：38%/40.4% 【達成度】94.1%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：8. 40歳以上の健康増進活動を推進、高齢者の増加に対応[-]

外部委託先	計画	株式会社 社会保険研究所（健康づくり事業）					
	実績	委託の有無	外部委託した				
		外部委託先事業者	株式会社 社会保険研究所（健康づくり事業）				

10	事業名	機関誌発行（けんぽニュース）
健康課題との関連		健康意識の向上・生活習慣改善
分類		

注1)事業分類	計画	2	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存
	実績	2		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない					PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	2回／年、PDFで発行。事業所担当者ヘイントラ掲載を依頼			予算額	700千円
	実績	ス		実績	2回／年、PDFで発行。事業所担当者ヘイントラ掲載を依頼				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	事業主メールにて事業所担当者ヘイントラ掲載のお願いと周知を依頼する。加入者にはPepUp（ポータルサイト）にてお知らせをする。ホームページにも掲載			決算額	828 千円
	実績	ア		実績	事業主メールにて事業所担当者ヘイントラ掲載のお願いと周知を依頼する。加入者にはPepUp（ポータルサイト）にてお知らせをする。ホームページにも掲載				
実施計画 (令和6年度)	【目的】 健保情報の周知や健診受診（家族健診・がん検診）、医療費適正化に繋げる。 【概要】 健保サービス情報、健康づくり情報、事業紹介、予算決算などを掲載(16P) し、全てWebのみ提供。								
振り返り	実施状況・時期		計画通り発行した 2回／年						
	成功・推進要因		年間計画を持って実施できている。 記事づくりは内製で行っている						
	課題及び阻害要因		ホームページ、イントラ、事業所配布、メルマガ・健康アプリPepUp などで啓発を行うが情報の周知の徹底にはハードルが高い						
評価	5. 100%								
事業目標									
【目標】 2回／年発行									
アウトプット指標 計画実施率（【令和5年度末の実績値】 100%【計画値/実績値】 令和6年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）計画実施率[-] アウトカム指標 なし (アウトカムは設定されていません)									
	計画	登録されていないサービスを利用する							

外部委託先	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

11	事業名	健保の情報提供									
健康課題との関連		健康意識の向上・生活習慣改善									
分類											
注1)事業分類	計画	2,5-ス	実施主体	計画	1.健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存		
	実績	2,5-ス		実績	1.健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業		PFS事業ではない			
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員									
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	①メルマガ登録者数管理（委員会として活動） ②社内イントラへの情報提供 ③ホームページの運営			予算額	1,650千円		
	実績	ス		実績	①メルマガ登録者数管理（委員会として活動） ②社内イントラへの情報提供 ③新ホームページの運営						
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	①委員会組織を持って運営する ②協力体制づくりを行う ③新ホームページの運営基準により各Gで対応する			決算額	1,255 千円		

	実績		実績	①委員会組織を持って運営する ②協力体制づくりを行う ③新ホームページの運営基準により各Gで対応する		
実施計画 (令和6年度)	【目的】タイムリーな情報提供を行いサービス向上と健保活動の認知を深める。 【概要】①メルマガ ②社内イントラへの情報提供 ③HPの運営					
振り返り	実施状況・時期 ①委員会組織により計画的な発信とアイデアをこらしたメルマガを提供する。前年から、これまでの配信方法をPepUp配信に切り替えた②事業主メールを用いて情報提供をしている③新HP運営はルールを決めて各Gで対応することとした。 成功・推進要因 ①はPep配信により開封状況が把握可能となる。またPep配信により家族へのダイレクトメッセージも配信できるようになった②体制づくりができており計画どおり実施できた。③新HPの運営ルールで問題なく実施できている。 課題及び阻害要因 ②の利用状況は調査できていない					
評価	5．100%					
事業目標						
【目的】タイムリーな情報提供を行いサービス向上と健保活動の認知を深める。 【概要】①メルマガ メールマガジン配信をPepUp配信に切り替える。 ②社内イントラへの情報提供 ③新HPの運営						
アウトプット指標 メルマガクリック割合（【令和5年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和6年度：10%/10.2% 【達成度】102.0%）①メルマガ送付者で、メルマガ開封したもののうち、メルマガ記事をクリックした者の割合 配信回数の平均値[-] ホームページ閲覧件数/月（【令和5年度末の実績値】22,288件【計画値/実績値】令和6年度：22,288件/29,826件 【達成度】133.8%）ホームページ閲覧件数 20000/月 （FY23 22288件/年）[FY24 29826件/年]						
アウトカム指標 なし (アウトカムは設定されていません)						
外部委託先	計画	株式会社 法研（その他の業務支援）				
	実績	委託の有無	外部委託した			
		外部委託先事業者	株式会社 法研（その他の業務支援）			

12	事業名	退職に伴うセミナー									
健康課題との関連		該当なし									
分類											
注1)事業分類	計画	1-工, 2, 5-ス	実施主体	計画	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存		
	実績	1-工, 2, 5-ス		実績	2. 事業主が主体で保健事業の一部としても活用						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 母体企業 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 定年退職予定者									
	実績	対象事業所 母体企業 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 定年退職予定者									
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	退職後も健康に留意するよう情報提供を行う			予算額	0千円		
	実績	ス		実績	退職後も健康に留意するよう情報提供を行う						
注3)ストラクチャー分類	計画	ア	実施体制	計画	退職セミナーで健保案内を配布する。			決算額	0 千円		
	実績	ア		実績	退職セミナーで健保案内を配布する。						
実施計画 (令和6年度)		【目的】 退職後も健康に留意するよう情報提供を行う 【概要】 退職セミナーで事業主が主体的に作成し、健保で内容確認した健保案内を配布してもらう									
振り返り	実施状況・時期		退職時セミナーで健保関係の案内を配布する1回／退職時								
	成功・推進要因		配布の体制作りができています								
	課題及び阻害要因		母体企業での活動のため、関係会社へ拡大する必要がある。								
評価		5. 100%									
事業目標											

1回／退職時		
アウトプット指標		
けんぽ案内送付（【令和5年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和6年度：1回/1回　【達成度】100.0%）全事業所で退職時セミナーに健保案内が配布できるよう、母体企業の人事と調整している[-]		
アウトカム指標		
なし (アウトカムは設定されていません)		
外部委託先	計画	未定
	実績	委託の有無 外部委託していなかった

【個別の事業】

2	事業名	特定健診（被保険者）									
健康課題との関連		特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が未達									
分類											
注1)事業分類	計画	3-ア	実施主体	計画	3．健保組合と事業主との共同事業	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)		
	実績	3-ア		実績	3．健保組合と事業主との共同事業						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者									
注2)プロセス分類	計画	イ、オ、カ、ケ、シ	実施方法	計画	①日産及び日産九州の従業員の特定健診実施方法 ・事業主側への協力依頼（安全衛生委員会にて未受診者状況を報告、上司経由にて未健診者をフォローする。TQM報告で毎月状況を報告） ・受診票にも期日内に受診を促すメッセージを入れる ・誕生月健診のため、各月の対象者ヘリストを職場上司へ渡し健診受診者を把握してもらう など ②日産及び日産九州以外の従業員は本部が事業所担当者と連携しフォローしている。年度始めに健診日程を調査し受診率を追っている			予算額	100千円		
	実績	イ、オ、カ、ケ、シ		実績	①日産及び日産九州の従業員の特定健診実施方法 ・事業主側への協力依頼（安全衛生委員会にて未受診者状況を報告、上司経由にて未健診者をフォローする。TQM報告で毎月状況を報告） ・受診票にも期日内に受診を促すメッセージを入れる ・誕生月健診のため、各月の対象者ヘリストを職場上司へ渡し健診受診者を把握してもらう など ②日産及び日産九州以外の従業員は本部が事業所担当者と連携しフォローしている。年度始めに健診日程を調査し受診率を追っている						

注3)ストラクチャー分類	計画 ア、イ、オ、カ、ケ、コ	実施体制	計画	①日産及び日産九州従業員は診療所で医療職含めたスタッフが健診実績を把握しており、事業主との連携体制の構築を行っている。 ②日産以外は本部（事業部）で管理している	決算額	62 千円
	実績 ア、イ、オ、カ、ケ、コ		実績	①日産及び日産九州従業員は診療所で医療職含めたスタッフが健診実績を把握しており、事業主との連携体制の構築を行っている。 ②日産以外は本部（事業部）で管理している		
実施計画 (令和6年度)	【目的】 特定健診による生活習慣病リスク判断 【概要】 適用条件で分けた目標設定で管理する 全体目標値：BP:84%、TH:80% ①日産/本人 BP:95%、TH:93% ②関連/本人 BP:95%、TH:92% ③家族 BP:56.5%、TH:52.5% ※予算計上は健診データのXMLデータ化費用のみ					
振り返り	実施状況・時期 ①99.5% ②96.3% ③55.8% 計84.6% 成功・推進要因 ①日産及び日産九州は各地区診療所が事業所主管部署と連携し健診フォローを行う。 ②日産及び日産九州以外は本部が月次で把握し健診フォローを行う 課題及び阻害要因 外部（日産健保加入者事業所以外への出向先及び提携医療機関外）で受診する場合の健診結果回収しきれていない。					
評価	4．80%以上					
事業目標						

特定健診受診率80%を目標とする。被扶養者含めた目標値
健診により健康課題の抽出が可能となる

アウトプット指標

未受診者フォロー（【令和5年度末の実績値】1回【計画値/実績値】令和6年度：1回/1回 【達成度】100.0%）計画通り健診が行われているか毎月健診率を追う。[-]
データ欠落フォロー（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）健診データをXMLで取り込んだ後、データ欠落など発生した場合は対処する。
計画実施率[-]
計画実施率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：95%/100% 【達成度】105.3%）①未健診フォローを行う。[-]
健診実施率（関係会社本人）（【令和5年度末の実績値】97.6%【計画値/実績値】令和6年度：95%/96.3% 【達成度】101.4%）②未健診フォローを行う。 BP:95%、TH：92%[-]
健診実施率（NML,NMK）（【令和5年度末の実績値】98.9%【計画値/実績値】令和6年度：95%/99.5% 【達成度】104.7%）BP:95%、TH：92%[-]
健診実施率（全体）（【令和5年度末の実績値】83.7%【計画値/実績値】令和6年度：84%/84.6% 【達成度】100.7%）BP:84%、TH：80%[-]

アウトカム指標

なし
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計 画	登録されていないサービスを利用する	
	委 託 の 有 無	外部委託した	
	実 績	外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

3 事業名		特定健診（被扶養者）							
健康課題との関連		特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が未達							
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア,3-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)
	実績	3-ア,3-イ		実績	1. 健保組合				

共同事業		共同事業ではない		PFS事業		PFS事業ではない	
事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者					
注2)プロセス分類	計画	イ,キ,ケ	実施方法	計画	年度のはじめに対象者家族へ案内書を自宅送付する。年度を通じて受診できる ①代行機関での施設健診 ②集団での施設健診 ③受診券での地域健診 ④パート先などでの健診 ⑤指定機関以外の健診 ⑥職場巡回バスでの健診	予算額	78,000千円
	実績	イ,キ,ケ		実績	年度のはじめに対象者家族へ案内書を自宅送付する。年度を通じて受診できる ①代行機関での施設健診 ②集団での施設健診 ③受診券での地域健診 ④パート先などでの健診 ⑤指定機関以外の健診 ⑥職場巡回バスでの健診		
注3)ストラクチャー分類	計画	オ,カ,キ,ク,ケ	実施体制	計画	①②代行業者へ委託 ③受診券発行 ④⑤健診結果入手 ⑥健診業者へ委託	決算額	72,866 千円
	実績	オ,カ,キ,ク,ケ		実績	①②代行業者へ委託 ③受診券発行 ④⑤健診結果入手 ⑥健診業者へ委託		
実施計画 (令和6年度)		【目的】 特定健診による生活習慣病リスク判断 【概要】 健診代行業者を用いて予約状況を把握し早めのフォローが可能になる。 BP:56.5%、TH:52.5%					
振り返り	実施状況・時期		被扶養者健診実施率：55.8% 受診券での特定健診利用者：678人（平均単価@8895円） 職場巡回バス健診受診者数117名				
	成功・推進要因		未受診フォロー通知を充実させた。（Pepでの配信も実施）。				
	課題及び阻害要因		かかりつけ医での受診者が健診の実績とつながるような仕組みを検討する				
評価		2．40%以上					
事業目標							

特定健診受診率80%を目標とする。被保険者含めた目標値
健診により健康課題の抽出が可能となる

アウトプット指標

未健診者案内送付（【令和5年度末の実績値】4回【計画値/実績値】令和6年度：4回/5回 【達成度】125.0%）未健診者へ通知はがきを送付し健診を促す。または、パート先受診でのデータ提供を促す。[-]

計画実施率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）健診データをXMLで取り込んだ後、データ欠落など発生した場合は対処する。計画実施率[-]

健診実施率（【令和5年度末の実績値】54.5%【計画値/実績値】令和6年度：56.5%/55.8% 【達成度】98.8%）年度目標値 BP:56.5%、TH:52.5% [-]

アウトカム指標

なし
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計 画	登録されていないサービスを利用する	
	実 績	委託 の有 無	外部委託した
	実 績	外部 委託 先事 業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

4 事業名		家族の未健診者フォロー（被扶養者）									
健康課題との関連		特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が未達									
分類											
注1)事業分類	計画	3-ア, 3-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定健康診査事業	新規・既存区分	既存(法定)		
	実績	3-ア, 3-イ		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者									

注2)プロセス分類	計画	ク, ケ, シ	実施方法	計画	①家族の家族の健診フォロー（本部） ②長期未受診者フォロー（メディカル）:3年以上日産メディカルで受診していない人へ封書で受診勧奨を行う	予算額	13,000千円
	実績			ク, ケ, シ	実績		
注3)ストラクチャー分類	計画	カ, キ, ク, ケ, シ	実施体制	計画	①家族の健診フォロー（本部） ②長期未受診者フォロー（メディカル）	決算額	7,766 千円
	実績	カ, キ, ク, ケ, シ		実績	①家族の健診フォロー（本部） ②長期未受診者フォロー（メディカル）		
実施計画 (令和6年度)	【目的】 家族の健診受診促進を行い健康状況を確認する 【概要】 ①健診案内の自宅送付、パート先受診の強化 ②日産メディカル（直営健診センター）の未受診者フォロー						
振り返り	実施状況・時期		① 5 月、8 月、10 月、12 月、1 月発送 ②FY24 4～3 月 日産メディカル未受診者フォロー 248 人				
	成功・推進要因		① コロナ禍から受診率は徐々に回復傾向 ② フォロー対象者を現健保加入者に絞ることでより効率化				
	課題及び阻害要因						
評価	3．60%以上						
事業目標							
特定健診受診率90%を目標とする。被保険者含めた目標値 被扶養者の健診受診率はBP:56.5%、TH:52.5% 健診により健康課題の抽出が可能となる							
アウトプット指標		家族の受診率（【令和5年度末の実績値】54.5%【計画値/実績値】令和6年度：50%/55.8% 【達成度】111.6%）年度目標値 家族 BP:56.5%、TH:52.5%[-] 日産メディカル未受診者フォロー（【令和5年度末の実績値】63人【計画値/実績値】令和6年度：56人/60人 【達成度】107.1%）年度目標値 メディカル 前年度実績以下[-] 未健診案内送付（【令和5年度末の実績値】5回【計画値/実績値】令和6年度：5回/5回 【達成度】100.0%）-[-]					
アウトカム指標		なし (アウトカムは設定されていません)					
	計画	登録されていないサービスを利用する					

外部委託先	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

5	事業名	特定保健指導（被保険者）									
健康課題との関連		特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が未達									
分類											
注1)事業分類	計画	4-ア	実施主体	計画	3．健保組合と事業主との共同事業	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)		
	実績	4-ア		実績	3．健保組合と事業主との共同事業						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者									
注2)プロセス分類	計画	イ, 工, オ, キ, ク, ケ, コ, サ, シ	実施方法	計画	①日産及び日産九州は各地区診療所の運営で保健指導を実施 ・健診当日の分割初回面談を実施する。事業主と連携して参加促進を促す。 。ICTの活用を行い参加しやすい体制づくりの実施 ・保健指導実績者の効果検証の実施 ②日産及び日産九州以外の関連会社は各事業所担当者に連絡し保健指導委託先と日程調整を行い実施する。ICTを促進しできるだけやりやすい環境を整える。委託先の状況を把握し対応する。				予算額	152,000千円	

	実績	イ, エ, オ, キ, ク, ケ, コ, サ, シ	実績	①日産及び日産九州は各地区診療所の運営で保健指導を実施 ・健診当日の分割初回面談を実施する。事業主と連携して参加促進を促す。 ・ICTの活用を行い参加しやすい体制づくりの実施 ・保健指導実績者の効果検証の実施 ②日産及び日産九州以外の関連会社は各事業所担当者に連絡し保健指導委託先と日程調整を行い実施する。ICTを促進しできるだけやりやすい環境を整える。委託先の状況を把握し対応する。		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア, イ, ウ, ケ, コ, シ	計画	①日産及び日産九州は各地区診療所と日産各地区安全健康管理課とで連携し進めている。他地区診療所合同の看護職会議にて保健指導のスキルアップを図っている。 ②日産及び日産九州以外の関連会社は、健保本部の事業部が主体で委託先の選定から実施、脱落フォローまで指導する	決算額	136,926 千円
	実績	ア, イ, ウ, ケ, コ, シ	実績	①日産及び日産九州は各地区診療所と日産各地区安全健康管理課とで連携し進めている。他地区診療所合同の看護職会議にて保健指導のスキルアップを図っている。 ②日産及び日産九州以外の関連会社は、健保本部の事業部が主体で委託先の選定から実施、脱落フォローまで指導する		
実施計画 (令和6年度)	【目的】 特定保健指導のみに切り替え実施率の向上を図る 【概要】 保健指導実施率 ①日産/本人 初回面談実施率 BP:76% TH:66% ②関連/本人 初回面談実施率 BP:64% TH:55%					
振り返り	実施状況・時期 ①86.5%（2025年4月時点）②66.4% 成功・推進要因 ①地区毎に計画実施しており、対象者にあったアプローチを実施する事ができるため。②事業所毎に担当を分けフォロー。実績の悪い事業所は担当へ連絡 課題及び阻害要因 ①健診後から選定までの間に異動をしてしまった場合フォローが困難なときがある。②特保対象者の選定時に健診未実施者は特保対象から漏れている。					
評価	5 . 100%					
事業目標						

特定保健指導実施率58.4%以上を目標とする。被扶養者含めた目標値	
①日産/本人 初回面談実施率 BP:76% TH:66%	
②関連/本人 初回面談実施率 BP:64% TH:55%	
アウトプット指標	
受診勧奨計画実施率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）①診療所が主体で行い、実施方法も診療所に任せている。目標達成のための計画実施率	
②健保主体で担当者と委託業者を調整する。目標達成のための計画実施率[-]	
保健指導実施率（【令和5年度末の実績値】75.5%【計画値/実績値】令和6年度：76%/86.5% 【達成度】113.8%）毎月進捗管理している（初回面談実施率）①日産/本人 初回面談実施率 BP:76% TH:66%[-]	
保健指導実施率（【令和5年度末の実績値】63.8%【計画値/実績値】令和6年度：64%/66.4% 【達成度】103.8%）毎月進捗管理している（初回面談実施率）②関連/本人 初回面談実施率 BP:64% TH:55%[-]	
アウトカム指標	
保健指導対象者の減少（全体）（【令和5年度末の実績値】16.9%【計画値/実績値】令和6年度：17%/17.8% 【達成度】104.7%）毎月進捗管理している。（前年度実績以下）全体目標値：BP:17.0%、TH:20.0%[-]	

外部委託先	計画	株式会社JMDC（特定保健指導）、フィッツプラス（特定保健指導）	
	委託の有無	外部委託した	
	実績	外部委託先事業者 株式会社JMDC（特定保健指導）、フィッツプラス（特定保健指導）	

6 事業名		特定保健指導（被扶養者）							
健康課題との関連		特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が未達							
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア,4-オ,4-カ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存(法定)

	実績	4-ア, 4-オ, 4-カ		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない			
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被扶養者							
注2)プロセス分類	計画	イ,エ,オ,キ,ク,ケ,コ	実施方法	計画	委託業者より案内を送送する			予算額	10,000千円
	実績	イ,エ,オ,キ,ク,ケ,コ		実績	委託業者より案内を送送する				
注3)ストラクチャー分類	計画	ウ,カ,ケ,コ	実施体制	計画	40歳以上の家族の健診者に特保の指導を行う			決算額	5,087 千円
	実績	ウ,カ,ケ,コ		実績	40歳以上の家族の健診者に特保の指導を行う				
実施計画 (令和6年度)	【目的】 リスクに応じた保健指導を行うことで、限られた予算を有効に使い結果（重症化予防）につなげる 【概要】 40歳～74歳/家族 国基準の支援対象者へ保健指導を案内する								
振り返り	実施状況・時期		①初回面談実施率：19.1%（69/245）最終予測は30%以上						
	成功・推進要因		未受諾者には手紙1回、電話3回のフォローを行う。						
	課題及び阻害要因		特保対象者は本人より少ないが、郵送案内では受諾率が伸びない。						
評価	3．60%以上								
事業目標									
特定保健指導実施率55%を目標とする。被保険者含めた目標値									
アウトプット指標 保健指導実施率（【令和5年度末の実績値】19.5%【計画値/実績値】令和6年度：20%/19.1% 【達成度】95.5%）保健指導実施率[最終予測は30%]									
アウトカム指標 保健指導対象者の減少率（家族）（【令和5年度末の実績値】6.3%【計画値/実績値】令和6年度：6.9%/8.4% 【達成度】82.1%）毎月進捗管理している。[-]									
外部委託先	計画	フィッツプラス（特定保健指導）							
	実績	委託の有無	外部委託した						

	績	外部委託先事業者	フィッツプラス（特定保健指導）
--	---	----------	-----------------

7 事業名		健診時同時初回面談の推進（特定保健指導）							
健康課題との関連		特定健診・特定保健指導の実施率の国目標が未達							
分類									
注1)事業分類	計画	4-ア	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存
	実績	1-エ, 4-ア		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 一部の事業所 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 被保険者,被扶養者							
	実績	対象事業所 一部の事業所 性別 男女 年齢 40～74 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	コ	実施方法	計画	健診センター（メディカル）での実施（家族）		予算額	1,310千円	
	実績	コ		実績	健診センター（メディカル）での実施（家族）				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,キ	実施体制	計画	健診日当日の健診結果から特保対象を判断し、健診日当日初回面談を実施する。健診当日に行うことで実施率UPを図る		決算額	260 千円	
	実績	ア,イ,キ		実績	健診日当日の健診結果から特保対象を判断し、健診日当日初回面談を実施する。健診当日に行うことで実施率UPを図る				
実施計画 (令和6年度)		【目的】 保健指導内容の改正を受けて検診日当日の初回面談を行うことで実施率の向上を狙う 【概要】 直営健診センター 初回面談実施率 BP:74%以上 完了率 BP:89%以上							
振り返り	実施状況・時期								
	①令和6年4月1日～令和7年3月31日健診受診者（生活習慣病・人間ドック）の中から、腹囲該当者・BMI2.5以上該当者を抽出。そのうち血圧該当者は確定。前回受診歴より、採血結果該当であれば初回指導実施（情報提供レベル者の場合もある。） 特定保健指導面談実施率：60.0%特定保健指導完了率：90%(最終見込)								
	成功・推進要因 当日の腹囲・体重をもとに声をかけており、健診途中あるいはすべて終了後に行うことで予防意識が高い時に指導が受けられるため受諾率が高い。								
	課題及び阻害要因 特定保健指導対象者は当日では確定せず、疑い者に面談を行うため、特定保健指導者とイコールにはならない。 また、FY24実施率実績は60%でTHはクリアしたがBPに届かなかった。新規受診者増や保健師が代替え要員にて一時欠員したことが要因と思われる。								
評価		3．60%以上							

事業目標

①初回面談実施者数 BP:74%以上 完了率（動機・積極） BP:89%以上

アウトプット指標

健診センター 特定保健指導面談実施率（【令和5年度末の実績値】79.3%【計画値/実績値】令和6年度：74%/60.0% 【達成度】81.1%）健診センター 特定保健指導 初回面談実施率（動機・積極） BP:74%以上[-]

健診センター 特定保健指導完了率（【令和5年度末の実績値】91.6%【計画値/実績値】令和6年度：89%/90% 【達成度】101.1%）健診センター 特定保健指導 完了率（動機・積極） BP:89.以上[-]

アウトカム指標 なし
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	未定	
	委託の有無	外部委託した	
	実績	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。	

8事業名	保健指導（糖尿病重症化防止活動__診療所）									
健康課題との関連	生活習慣病の予防と重症化の予防									
分類										
注1)事業分類	計画	4-キ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存	
	実績	4-キ		実績	1．健保組合					
共同事業	共同事業ではない					PFS事業	PFS事業ではない			
事業の内容										
対象者	計画	対象事業所 母体企業 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 基準該当者								

	実績	対象事業所 母体企業 性別 男女 年齢 18 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者				
注2)プロセス分類	計画	イ,オ,キ,ク,ケ,サ 実施方法	計画	健診の糖有所見者のうち、ターゲット層に対して各地区診療所で定めた活動を実施	予算額	1,000千円
	実績		実績	健診の糖有所見者のうち、ターゲット層に対して各地区診療所で定めた活動を実施		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,イ,ク,サ 実施体制	計画	診療所内スタッフ（産業医・看護職）との連携、事業主との連携体制の構築、健保内での連携体制を整える。	決算額	13,225 千円
	実績		実績	診療所内スタッフ（産業医・看護職）との連携、事業主との連携体制の構築、健保内での連携体制を整える。		
実施計画 (令和6年度)	【目的】 従業員の糖尿病の重症化を防止する 【概要】 全地区統一のターゲット層を定め、対象者に対して指導・活動を実施し実施率で管理する					
振り返り	実施状況・時期 通年で誕生日健診受診者の判定をもとに対象者を選定し、実施した。					
	成功・推進要因 健診後の医師呼出として扱い、会社とも連携して事業を推進することで高い実施率につながった。					
	課題及び阻害要因 各地区で指導内容にばらつきがあり一律のアウトプットやプロセス評価がしづらい。					
評価	4．80%以上					
事業目標						
産業医指示に対する保健指導の計画実施率 90%						
アウトプット指標 計画実施率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：90%/91.8% 【達成度】102.0%）産業医指示に対する保健指導の計画実施率[-]						
アウトカム指標 なし (アウトカムは設定されていません)						
	計画	未定				

外部委託先	実績	委託の有無	外部委託していなかった
-------	----	-------	-------------

9 事業名		生活習慣病健診									
健康課題との関連		生活習慣病の予防と重症化の予防									
分類											
注1)事業分類	計画	2,3-ア,3-イ,3-ウ,3-エ,4-キ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存		
	実績	2,3-ア,3-イ,3-ウ,3-エ,4-キ		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,被扶養者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～74 対象者分類 被保険者,被扶養者,任意継続者									
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,ケ	実施方法	計画	①健診代行業者委託に変更し、生活習慣病リスク低減のため受診しやすい環境を整える。 ②生活習慣病健診と名称を変え、女性がん検査を無償化する。(FY19～) ③健診未予約の人を早目にフォローし早期発見による重症化防止を図る。 ④日産メディカル 生活習慣病健診受診促進（受診率充足率・新規受診率の向上）			予算額	266,678千円		

	実績	イ,ウ,ケ		実績	①健診代行業者委託に変更し、生活習慣病リスク低減のため受診しやすい環境を整える。 ②生活習慣病健診と名称を変え、女性がん検査を無償化する。(FY19～) ③健診未予約の人を早目にフォローし早期発見による重症化防止を図る。 ④日産メディカル 生活習慣病健診受診促進（受診率充足率・新規受診率の向上）		
注3)ストラクチャー分類	計画	カ,キ	実施体制	計画	①被扶養者の健診実施率は月次報告会で毎月報告を行う ④日産メディカル 方策を講じて毎月の受診率充足率と新規受診率を月次報告する	決算額	252,210 千円
	実績	カ,キ		実績	①被扶養者の健診実施率は月次報告会で毎月報告を行う ④日産メディカル 方策を講じて毎月の受診率充足率と新規受診率を月次報告する		
実施計画 (令和6年度)	【目的】生活習慣病のリスク測定と、早期発見による重症化防止を図る 【概要】 ①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。（FY18～） ②生活習慣病健診と名称を変え、特定健診項目と女性がん検査を無償化する。（FY19～） ③健診未予約の人を早目にフォローする（健診代行へ移行したことで可能になる） ④日産メディカル 生活習慣病健診の受診促進（率充足率）、新規受診率 被扶養者（40歳以上）：健診率 BP：56.5%、TH：52.5%						
振り返り	実施状況・時期 健診実施率 55.8%						
	成功・推進要因 健診実施率は月次報告を行い進捗管理をした。未検診者へのフォローは昨年は1回であったが今年は5回実施した。④新規受診率回復、健診率充足率増を行うことで健診実施率向上を狙った。						
	課題及び阻害要因 年度末駆け込み受診が多く、駆け込み受診者は保健指導対象者も多い。④年度末の駆け込み受診に新規受診者が多くなるが、リピーターの受診は回復していない。						
評価	2．40%以上						
事業目標							

被扶養者（４０歳以上）：健診率　BP：56.5%、TH：52.5%
がん検診実施率の向上（５大がんの検診率）は目標値を持たないが集計は行う。

アウトプット指標

胃がん精検受診率（【令和5年度末の実績値】85.2%【計画値/実績値】令和6年度：75%/85.2%　【達成度】113.6%）日産本人　胃がん精検受診率　BP:75%、TH:70%[-]
大腸がん精検受診率（【令和5年度末の実績値】77.3%【計画値/実績値】令和6年度：75%/77.3%　【達成度】103.1%）日産本人　大腸がん精検受診率　BP:75%、TH:70%[-]
がん精検受診率（【令和5年度末の実績値】32.5%【計画値/実績値】令和6年度：39.1%/43.3%　【達成度】110.7%）関係会社本人　がん精検受診率　BP:39.1%、TH:34.1%[-]
がん精検受診率（【令和5年度末の実績値】51.3%【計画値/実績値】令和6年度：39.8%/67.2%　【達成度】168.8%）家族　がん精検受診率　BP:52.8%、TH:47.8%[-]
未受診者フォロー（【令和5年度末の実績値】4回【計画値/実績値】令和6年度：4回/9回　【達成度】225.0%）-[-]
データ欠落フォロー（【令和5年度末の実績値】10回【計画値/実績値】令和6年度：10回/10回　【達成度】100.0%）データ抽出時にエラーチェックを行う[-]
日産メディカル健診受診促進（【令和5年度末の実績値】80%【計画値/実績値】令和6年度：80%/74.6%　【達成度】93.2%）④日産メディカル　生活習慣病健診の受診促進（粹充足率）BP:80%、TH:70%[-]
日産メディカル健診受診促進（【令和5年度末の実績値】5.1%【計画値/実績値】令和6年度：5.1%/6.0%　【達成度】117.6%）④日産メディカル　生活習慣病健診の受診促進（新規受診率）BP:5.1%、TH:3.5%[-]
健診受診率（【令和5年度末の実績値】54.5%【計画値/実績値】令和6年度：56.5%/55.8%　【達成度】98.8%）被扶養者　BP：56.5%、TH：52.5%[-]

アウトカム指標

なし
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計 画	ウィーメックス株式会社（特定健診）	
	実 績	委託 の有 無	外部委託した
		外部 委託 先事 業者	ウィーメックス株式会社（特定健診）

10	事業名	新：郵送健診							
健康課題との関連		生活習慣病の予防と重症化の予防							
分類									
注1)事業分類	計画	3-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	3-ク		実績	1. 健保組合				

共同事業		共同事業である		PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 38 ～ 39 対象者分類 基準該当者					
	実績	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 38 ～ 39 対象者分類 基準該当者					
注2)プロセス分類	計画	ク、ケ	実施方法	計画	過去 3 年間健診未受診者に郵送健診を行った	予算額	1,000千円
	実績			実績	過去 3 年間健診未受診者に郵送健診を行った		
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	神奈川連合会との共同事業で被保険者の健診実施率向上の対策として実施した。	決算額	639 千円
	実績	シ		実績	神奈川連合会との共同事業で被保険者の健診実施率向上の対策として実施した。		
実施計画 (令和6年度)		【目的】被扶養者の健診率向上。岩盤層を対象に実施 【概要】神奈川連合会との共同事業として38、39歳の被扶養者で過去 3 か年未受診者に自宅に健診キットを送る事業を計画した					
振り返り	実施状況・時期		対象者364名に対し申込者89名（実施率24.5%）				
	成功・推進要因		未申込者フォローを実施				
	課題及び阻害要因		健診の重要性告知の不足・自己負担なしのため受けやすい				
評価	1．39%以下						
事業目標							
被扶養者（４０歳以上）：健診率　BP：56.5%、TH：52.5%							
アウトプット指標		健診実施率（【令和5年度末の実績値】54.5%【計画値/実績値】令和6年度：56.5%/55.8%　【達成度】98.8%）被扶養者（４０歳以上）：健診率　BP：56.5%、TH：52.5%[-] 計画実施率（【令和5年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和6年度：1回/1回　【達成度】100.0%）年度内 1 回実施[-] 申込者率（【令和5年度末の実績値】-【計画値/実績値】令和6年度：20%/24.4%　【達成度】122.0%）-[-]					
アウトカム指標		なし (アウトカムは設定されていません)					
	計画	未定					
		委託の有無	外部委託した				
外部委託先	実						

	績	外部委託先事業者	株式会社サンプリ（特定健診）
--	---	----------	----------------

11	事業名	ドック健診							
健康課題との関連		生活習慣病の予防と重症化の予防							
分類									
注1)事業分類	計画	3-ア, 3-イ, 3-ウ, 3-エ, 3-ク	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ア, 3-イ, 3-ウ, 3-エ, 3-ク		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～74 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 30～74 対象者分類 基準該当者							

注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	①生活習慣病健診と人間ドックを併記して受診案内冊子を対象者へ自宅配布する。HPやメルマガなど啓発活動を行う ②日産メディカル 退職者を含む加入者に格安でドックを提供する	予算額	130,911千円
	実績		実績	①生活習慣病健診と人間ドックを併記して受診案内冊子を対象者へ自宅配布する。HPやメルマガなど啓発活動を行う ②日産メディカル 退職者を含む加入者に格安でドックを提供する		
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。(FY18～) ②健保直営の健診センター(日産メディカル)で目標値を設定して健診率向上を目指す	決算額	135,709 千円
	実績		実績	①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。(FY18～) ②健保直営の健診センター(日産メディカル)で目標値を設定して健診率向上を目指す		

実施計画 (令和6年度)	【目的】 早期発見により重症化防止を図る 【概要】 ①医療機関との直接契約から健診代行業者委託に変更する。(FY18～) ②日産メディカル 健診満足度を測定する BP:85%, TH:80%					
-----------------	---	--	--	--	--	--

振り返り	実施状況・時期	①医療機関 3392人②日産メディカル 1,007人 計4399人 満足度 85.1%
	成功・推進要因	①健診冊子を自宅配布②待ち時間改善
	課題及び阻害要因	・費用の負担が大きい(一人2万円以上負担)・人間ドックの必要性を広く啓発できていない②ドック休暇など整備が必要(メディカル)

評価	3.60%以上
----	---------

事業目標

早期発見により重症化を防止する

アウトプット指標	
ドック受診者数(【令和5年度末の実績値】4,166人【計画値/実績値】令和6年度:4,685人/4,339人【達成度】92.6%)①受診者数・ドック健診 目標値:FY23実績値 4035人[-] 日産メディカル 健診満足度(【令和5年度末の実績値】90.2%【計画値/実績値】令和6年度:85%/90.2%【達成度】106.1%)②日産メディカル 健診満足度 BP:85%, TH:80%[-]	
アウトカム指標	
がん精検受診率(全体)(【令和5年度末の実績値】50.2%【計画値/実績値】令和6年度:52%/57.5%【達成度】110.6%)全体 BP:52% TH:47%[-]	

	計画	ウィーメックス株式会社(特定健診)

外部委託先	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	ウィーメックス株式会社（特定健診）

12	事業名	がん検診（職場）							
健康課題との関連		がん早期発見・早期治療							
分類									
注1)事業分類	計画	3-ウ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	3-ウ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～（上限なし） 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 40～（上限なし） 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,オ,キ,ケ,サ	実施方法	計画	①事業主の定期健康診断で同時に胃がん・大腸がんを行い、一部健診補助を行う。 ②巡回健診でマンモグラフィー、子宮がん検診を職場巡回型で実施する			予算額	36,000千円
	実績	イ,ウ,オ,キ,ケ,サ		実績	①事業主の定期健康診断で同時に胃がん・大腸がんを行い、一部健診補助を行う。 ②巡回健診でマンモグラフィー、子宮がん検診を職場巡回型で実施する				

注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	①事業主から請求書と健診実績リストを受け取り、実施数に応じて費用補助を行う。 ②職場巡回バス健診は日時や手続きなど本部主体で行う。	決算額	33,765 千円
	実績		実績	①事業主から請求書と健診実績リストを受け取り、実施数に応じて費用補助を行う。 ②職場巡回バス健診は日時や手続きなど本部主体で行う。		
実施計画 (令和6年度)	【概要】 ①事業主の定期健康診断で同時に胃がん・大腸がんを行い、一部健診補助を行う。 ②巡回健診でマンモグラフィー、子宮がん検診を職場巡回型で実施する					
振り返り	実施状況・時期		①事業主：胃がん検診 1513人、大腸がん検診 15017人②事業主：乳がん検診 延1656人、子宮がん検診 1266人			
	成功・推進要因		①定期健診時にがん検診を行うスキームが出来上がっている②職場に巡回型のバスを用いて希望者に健診を行うスキームを毎年調整する			
	課題及び阻害要因		①②ともに、事業主への訴求力が弱いと実施できない。			
評価	3．60%以上					
事業目標						
がんの早期発見により重症化を防止する						
アウトプット指標						
計画実施率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）①事業主健診の大腸がん・胃がん（ABC検査）の費用補助計画実施率 ②職場巡回婦人科健診の計画実施率[-] がん精検受診率（日産本人）（【令和5年度末の実績値】79.4%【計画値/実績値】令和6年度：85%/89.2% 【達成度】104.9%）日産本人 胃がん・大腸がん[-] がん精検受診率（関係会社）（【令和5年度末の実績値】39.1%【計画値/実績値】令和6年度：39.1%/43.3% 【達成度】110.7%）関係会社本人 胃がん・大腸がん BP:39.1%、TH:34.1%[-] がん精検受診率（関係会社）（【令和5年度末の実績値】70%【計画値/実績値】令和6年度：70%/67.0% 【達成度】95.7%）関係会社本人 肺・乳・子宮がん BP:70%、TH:60%[-] 胃・大腸がん精検受診率（家族）（【令和5年度末の実績値】51.3%【計画値/実績値】令和6年度：51.3%/67.2% 【達成度】131.0%）家族 胃・大腸がん BP:51.3%、TH:46.3%[-]						
アウトカム指標						
なし (アウトカムは設定されていません)						
	計画	登録されていないサービスを利用する				
	委託の有無	外部委託した				
外部委託先	実					

	実績	外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。
--	----	----------	---

13	事業名	3 3 歳人間ドックの無料化							
健康課題との関連		性差や年齢による健康課題							
分類									
注1)事業分類	計画	2,3-ア,3-イ,3-ウ,3-エ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	2,3-ア,3-イ,3-ウ,3-エ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 33 ～ 33 対象者分類 被保険者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 33 ～ 33 対象者分類 被保険者							
注2)プロセス分類	計画	ア,イ,ウ,オ,キ,ク,ケ	実施方法	計画	33歳の対象者へ人間ドックを無償化し若年層のヘルスリテラシーの向上を狙う ①日産従業員 ②関係会社			予算額	37,724千円

	実績	ア, イ, ウ, オ, キ, ク, ケ		実績	33歳の対象者へ人間ドックを無償化し若年層のヘルスリテラシーの向上を狙う ①日産従業員 ②関係会社		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア, イ, ウ, カ, ケ, コ	実施体制	計画	・事業主からのアプローチを強化する ・啓発活動を強化する ①日産従業員 ②関係会社	決算額	36,121 千円
	実績	ア, イ, ウ, カ, ケ, コ		実績	・事業主からのアプローチを強化する ・啓発活動を強化する ①日産従業員 ②関係会社		
実施計画 (令和6年度)	【目的】（若年層対策）40歳前に健康リテラシーを向上させ、健康の維持・増進・悪化防止のスキームを作る 【概要】33歳の対象者へ人間ドックを無償化する ①日産 母数565人 BP:60% TH:55% ②関係会社 母数422人 BP:53% TH:48%						
振り返り	実施状況・時期 71.9%＝748/1,041①日産 78.2 %②関係会社 62.1% 成功・推進要因 事業主の協力体制が整ってきた。 啓発活動の強化 課題及び阻害要因 事業所の協力が不可欠						
評価	3．60%以上						
事業目標							
①日産 母数565人 BP:60% TH:55% ②関係会社 母数422人 BP:53% TH:48%							
アウトプット指標 ①33歳ドック受診者率 日産（【令和5年度末の実績値】71.6%【計画値/実績値】令和6年度：60%/78.2% 【達成度】130.3%）①日産 母数565人 BP:60% TH:55%[-] ②33歳ドック受診者率 関係会社（【令和5年度末の実績値】52.6%【計画値/実績値】令和6年度：53%/62.1% 【達成度】117.2%）②関係会社 母数422人 BP:53% TH:48% [-]							
アウトカム指標 なし (アウトカムは設定されていません)							
	計画	ウィーメックス株式会社（特定健診）					

外部委託先	実績	委託の有無	外部委託した
		外部委託先事業者	ウィーメックス株式会社（特定健診）

14 事業名		がん精検受診率									
健康課題との関連		がん早期発見・早期治療									
分類											
注1)事業分類	計画	4-カ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存		
	実績	4-カ		実績	1．健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 基準該当者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 基準該当者									
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,エ,オ,ク,ケ,シ	実施方法	計画	①日産及び日産九州 本人 胃・大腸精検者を診療所でフォローし管理する。 ②日産及び日産九州以外の関連会社 胃・大腸精検者を一部費用補助し 要所見者を報告してもらうことでレセプトと突合し管理する。 ③家族 健診機関から結果を入手しレセプトと突合することで管理する。 。			予算額	4,100千円		
	実績	イ,ウ,エ,オ,ク,ケ,シ		実績	②日産本人 胃・大腸精検者を診療所でフォローし管理する。 ③関連会社 胃・大腸精検者を一部費用補助し要所見者を報告してもらう ことでレセプトと突合し管理する。 ④家族 健診機関から結果を入手しレセプトと突合することで管理する。 。						

注3)ストラクチャー分類	計画 ア, イ, ウ, カ, キ, ケ	実施体制	計画	①②③を分類し担当グループで管理する	決算額	1,706 千円
	実績 ア, イ, ウ, カ, キ, ケ		実績	②③④を分類し担当グループで管理する		
実施計画 (令和6年度)	【目的】 健診後フォロー 精検受診率を追い、未治療者をフォローし治療につなげ重症化を防止する 【概要】 有所見者の未治療者（医療）を追いアプローチする ①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35% ②日産本人 胃・大腸精検者 BP:75～85% TH:70～80%. ③関連会社 精検受診率 BP:39.1%、TH:34.1% ④家族 5部位がん精検受診率 BP:53.6%、TH:48.6%					
振り返り	実施状況・時期 ①全体 45.8%②日産：胃がん・大腸がん 85.9%③関係会社：43.3%④家族：67.2%					
	成功・推進要因 ①事業所単位で目標値を決め月次で進捗管理を行いフォロー体制を整えた。②③④事業部で目標値を決め月次で進捗管理を行っている。					
	課題及び阻害要因 ②また、対象者本人が医療機関受診に対しコロナ感染を懸念する場合もあり受診までに及ばない。③④事業所によって温度差がある。また、データの提出も医療機関により協力を得られない。					
評価	3．60%以上					
事業目標						

- ①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35%
 ②日産本人 胃・大腸精検者 BP:75～85%、TH:70～80%
 ③関連会社 精検受診率 BP:39.1%、TH:34.1%
 ④家族 精検受診率 BP:52.8%、TH:47.8%

アウトプット指標

がん精検受診率（全体）（【令和5年度末の実績値】50.2%【計画値/実績値】令和6年度：45%/57.5% 【達成度】127.8%）①全体 精検受診率 BP:45%、TH:35%[-]
 胃がん精検受診率（日産）（【令和5年度末の実績値】85.2%【計画値/実績値】令和6年度：85%/89.2% 【達成度】104.9%）②日産本人 胃がん精検受診率 BP:85%、TH:80%[-]
 大腸がん精検受診率（日産本人）（【令和5年度末の実績値】77.3%【計画値/実績値】令和6年度：75%/82.6% 【達成度】110.1%）②日産本人 大腸がん精検受診率 BP:75%、TH:70%[-]
 胃・大腸がん精検受診率（関係会社本人）（【令和5年度末の実績値】32.5%【計画値/実績値】令和6年度：34.5%/43.3% 【達成度】125.5%）関係会社本人 がん精検受診率 BP:34.5%、TH:28.7%[-]
 胃・大腸がん精検受診率（家族）（【令和5年度末の実績値】51.3%【計画値/実績値】令和6年度：51.3%/67.2% 【達成度】131.0%）家族 胃・大腸がん BP:51.3%、TH:46.3%[-]

アウトカム指標

がん重症化防止(患者当たり医療費)（【令和5年度末の実績値】883,497円【計画値/実績値】令和6年度：883,497円/919,408円 【達成度】96.1%）令和5年度：883,497円[-]
 がん重症化防止（人数）（【令和5年度末の実績値】2,666人【計画値/実績値】令和6年度：2,666人/2,659人 【達成度】100.2%）令和5年度：2,666人[-]
 1件当たり受療日数（【令和5年度末の実績値】1.56日【計画値/実績値】令和6年度：1.56日/1.53日 【達成度】102%）令和4年度：1.56日[-]
 喫煙率（【令和5年度末の実績値】24.4%【計画値/実績値】令和6年度：24.4%/24.1% 【達成度】101.2%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：6. がん対策の取り組みを強化[-]

外部委託先	計画	未定
	委託の有無	外部委託した
	実績	

	外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。
--	----------	---

15	事業名	歯科健診の促進									
健康課題との関連		生活習慣病の予防と重症化の予防									
分類											
注1)事業分類	計画	3-力	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存		
	実績	3-力		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0 ～ （上限なし） 対象者分類 加入者全員									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0 ～ （上限なし） 対象者分類 加入者全員									
注2)プロセス分類	計画	ア, イ, ウ, オ, キ, ク, ケ, サ	実施方法	計画	① 2 回／年 口腔検査・歯石除去の費用補助 ② 職場出張健診の費用補助 ③ PepUpを活用したeラーニングを実施			予算額	37,461千円		
	実績	ア, イ, ウ, オ, キ, ク, ケ, サ		実績	① 2 回／年 口腔検査・歯石除去の費用補助 ② 職場出張健診の費用補助 ③ PepUpを活用したeラーニングを実施						

注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	①無料健診の利用者を増やす ②事業所で健診時やイベント実施時に出張歯科検診を行う ③PePupを活用したeラーニングを実施することで歯科健診受診の促進を行う ④②受診者への受診勧奨	決算額	28,323 千円
	実績		実績	①無料健診の利用者を増やす ②事業所で健診時やイベント実施時に出張歯科検診を行う ③PePupを活用したeラーニングを実施することで歯科健診受診の促進を行う ④②受診者への受診勧奨		
実施計画 (令和6年度)	【目的】 早期発見、早期治療により重症化を防止し医療費の抑制を図る 【概要】 ①無料健診の利用者を増やす。 ②事業所で健診時に出張歯科健診を行う ③PePupを活用したeラーニングを実施することで歯科健診受診の促進を行う ④②受診者への受診勧奨					
振り返り	実施状況・時期		①無料歯科検診：2657人②出張歯科検診：関連5187人＋NML3787人 計47地区8974人 ③スクリーニング検査⇒ハミエルに変更④レセプトでの検証			
	成功・推進要因		①継続した支援により認知されている②事業所と連携し定期健診時やイベントにて実施する④分析ツールにより分析が可能となった			
	課題及び阻害要因		①地域差がある②調整に工数を要する④実績が把握できるようになったことで今後は目標値を置くことができる			
評価	4．80%以上					
事業目標						
早期発見・早期治療により重症化を防止し医療費抑制につなげる						
アウトプット指標 歯科健診実施者数（【令和5年度末の実績値】2,397人【計画値/実績値】令和6年度：2,397人/2,657人 【達成度】110.8%）①歯科検診実施者数 前年実績を目標値とする [-] 出張歯科健診受診者数（【令和5年度末の実績値】5,300人【計画値/実績値】令和6年度：5,300人/8,974人 【達成度】169.3%）②出張歯科健診受診者数[-]						
アウトカム指標						
歯科メンテナンス受療率（【令和5年度末の実績値】40.49%【計画値/実績値】令和6年度：40.49%/39.3% 【達成度】97.1%）④歯科健診結果（受診勧奨率）レセプトより算出する [-]						
外部委託先	計画	株式会社ハミエル（歯科健診）、株式会社ハミエル（歯科健診）				
	委託の有無	外部委託した				
実績						

	外部委託先事業者	株式会社ハミエル（歯科健診）、株式会社ハミエル（歯科健診）
--	----------	-------------------------------

16	事業名	禁煙活動									
健康課題との関連		生活習慣病の予防と重症化の予防									
分類											
注1)事業分類	計画	5-ク	実施主体	計画	3. 健保組合と事業主との共同事業	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存		
	実績	5-ク		実績	3. 健保組合と事業主との共同事業						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 20 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者									
注2)プロセス分類	計画	エ，キ，ケ	実施方法	計画	①遠隔禁煙外来：本人負担額は5,000円。専用アプリより申込を行い自分の好きな時間にオンライン診療（4回）を受ける。薬については、本人指定の送付先に発送。最終診療後10か月（4回）フォロー連絡あり。 ②ノンスモプログラム：本人負担額は0円。QRコードから簡単にアクセスでき、申し込みをすると禁煙ガムが自宅に届き、チャットによる禁煙サポートが6か月間届く。			予算額	8,000千円		
	実績	エ，キ，ケ		実績	本人負担額は5,000円。専用アプリより申込を行い自分の好きな時間にオンライン診療（4回）を受ける。薬については、本人指定の送付先に発送。最終診療後10か月（4回）フォロー連絡あり。						
注3)ストラクチャー分類	計画	ア，イ，ウ，ケ	実施体制	計画	①遠隔禁煙外来：プログラムは外注しているが費用補助は健保。 ②ノンスモプログラム：健保の会議体で紹介し、事業所の協力や活動の周知を行う。また利用者へはICT（PepUp）や社内イントラで申し込み期間など告知する。			決算額	5,502 千円		

	実績	ア イ ウ ケ		実績	プログラムは外注しているが費用補助は健保。 周知等は診療所や事業所に協力いただき実施している。		
実施計画 (令和6年度)	【目的】喫煙率を削減し健康へのリスクを低減する活動を行う 【概要】①目標設定し活動を進める。また事業所単位でも目標設定し競争意識を持たせる（関連／本人） ②計画的に禁煙日を設け、禁煙を体験することで成功体験を重ね完全禁煙へのステップとして利用してもらう。						
振り返り	実施状況・時期 日産及び日産九州の各地区診療所や関連企業の事業所でPRを行っていただいている。また、外注している業者よりチラシの発送や動画作成等協力いただきPRを行った。 成功・推進要因 各所のステークホルダーの協力を得ながら活動している。 課題及び阻害要因 禁煙外来の脱落者や再喫煙者のフォローなど細かくアプローチする必要がある。						
評価	5．100%						
事業目標							
喫煙率 ①日産本人 BP:24.6% TH:25.6% ②関連本人 BP:29.8% TH:31.0% ③家族 BP: 5.6% TH: 5.8%							
アウトプット指標 禁煙活動実施率:年2回実施（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）ノンスモ：年2回実施[-] 禁煙成功率（【令和5年度末の実績値】25.7%【計画値/実績値】令和6年度：21.8%/12.2% 【達成度】56.0%）ノンスモ：プログラム終了一か月後にヒヤリングし、それまで禁煙が続いていた割合[-] 減煙成功率（【令和5年度末の実績値】18.6%【計画値/実績値】令和6年度：60%/11.2% 【達成度】18.7%）ノンスモ：プログラム参加後、減煙ができているか一か月後にヒヤリングして得た割合[-] アンケート回収率（【令和5年度末の実績値】44.5%【計画値/実績値】令和6年度：48.8%/33.1% 【達成度】67.8%）ノンスモ：プログラム終了後1か月でのアンケート回収率[-]							
アウトカム指標 喫煙率（【令和5年度末の実績値】25.1%【計画値/実績値】令和6年度：24.6%/25.6% 【達成度】96.1%）①日産本人 BP:24.6% TH:25.6%[-] 喫煙率（【令和5年度末の実績値】30.4%【計画値/実績値】令和6年度：31.0%/30.3% 【達成度】102.3%）②関連本人 BP:29.8% TH:31.0%[-] 喫煙率（【令和5年度末の実績値】5.5%【計画値/実績値】令和6年度：5.6%/5.9% 【達成度】94.9%）③家族 BP: 5.6% TH: 5.8%[-] 喫煙率（【令和5年度末の実績値】24.4%【計画値/実績値】令和6年度：24.4%/24.1% 【達成度】101.2%）全体：目標値 前年実績以下[-]							
外部委託先	計画	株式会社リンケージ（健康づくり事業）					
	委託の有無	外部委託した					
	実績						

	績	外部委託先事業者	株式会社リンケージ（健康づくり事業）
--	---	----------	--------------------

17	事業名	健康作り支援（スポーツジム契約）									
健康課題との関連		生活のQOLの向上									
分類											
注1)事業分類	計画	5-ウ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	既存		
	実績	5-ウ		実績	1．健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員									
注2)プロセス分類	計画	ア,キ,ケ,ス	実施方法	計画	スポーツジムと法人契約を結び利用者の負担軽減を図る			予算額	5,858千円		
	実績	ア,キ,ケ,ス		実績	スポーツジムと法人契約を結び利用者の負担軽減を図る						
注3)ストラクチャー分類	計画	ク,ケ	実施体制	計画	法人契約しているスポーツジムから加入者情報（利用状況）を報告してもらいPepポイント付与（インセンティブ）に繋げる			決算額	5,808 千円		
	実績	ク,ケ		実績	法人契約しているスポーツジムから加入者情報（利用状況）を報告してもらいPepポイント付与（インセンティブ）に繋げる						
実施計画 (令和6年度)		【目的】 自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する 【概要】 ジム契約者にはPepポイントを付与して利用促進を図る									
振り返り	実施状況・時期		ジム利用者には利用促進のためインセンティブを付与する。								
	成功・推進要因		利用者リストを入手し、PepUpポイントを付与する。								
	課題及び阻害要因		参加率の低迷（コロナ禍の課題あり）								

評価	3．60%以上		
事業目標			
自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する			
アウトプット指標			
ジム利用者数（延べ人数）（【令和5年度末の実績値】3,833人【計画値/実績値】令和6年度：3,833人/3,864人　【達成度】100.8%）前年比較　前年はコロナ禍での利用者減のため目標は前年以上とする。[-]			
アウトカム指標			
健康年齢わかさ率（【令和5年度末の実績値】63%【計画値/実績値】令和6年度：63%/60.2%　【達成度】95.6%）モニタリングとして進捗確認　FY23目標値　BP:69%、TH:66%　前年実績63%[-]			
運動習慣ありの割合（本人）（【令和5年度末の実績値】27.4%【計画値/実績値】令和6年度：27.4%/29.8%　【達成度】108.8%）前年実績以上[-]			
運動習慣ありの割合（家族）（【令和5年度末の実績値】29.7%【計画値/実績値】令和6年度：29.7%/33.6%　【達成度】113.1%）前年実績以上[-]			
外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する	
	委託の有無	外部委託した	
	実績	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。	

18	事業名	オンラインジム									
健康課題との関連		生活のQOLの向上									
分類											
注1)事業分類	計画	5-ウ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	体育奨励	新規・既存区分	新規		
	実績	5-ウ		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業		PFS事業ではない			
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 加入者全員									

	実績	対象事業所 全て性別 男女年齢 18 ～ （上限なし）対象者分類 加入者全員				
注2)プロセス分類	計画	工,キ,ケ 実施方法	計画	運動習慣の定着を図るためオンラインジムを開催する	予算額	2,000千円
	実績		実績	運動習慣の定着を図るためオンラインジムを開催する		
注3)ストラクチャー分類	計画	ク,ケ 実施体制	計画	Web上のジム（オンラインジム）を計画する。専門業者と連携して効果的なイベントを開催する	決算額	2,356 千円
	実績		実績	Web上のジム（オンラインジム）を計画する。専門業者と連携して効果的なイベントを開催する		
実施計画 (令和6年度)	【目的】 自主的に運動習慣を身に付け健康の維持向上を支援する 【概要】 Web上のジム（オンラインジム）を計画する。専門業者と連携して効果的なイベントを開催する					
振り返り	実施状況・時期 オンラインジムを計画通り実施した。					
	成功・推進要因 PepUpで告知したことでひとり一人にアプローチできた。					
	課題及び阻害要因 参加率の向上					
評価	5 . 100%					
事業目標						
オンラインジムを計画し、自宅でも運動ができる環境を作る。						
アウトプット指標 実施者数（【令和5年度末の実績値】432人【計画値/実績値】令和6年度：432人/595人 【達成度】137.7%）実施者数（前年実績 延べ人数）前年実績以上[-]						
アウトカム指標 なし (アウトカムは設定されていません)						
外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する				
	委託の有無	外部委託した				
実績						

	外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。
--	----------	---

19 事業名		50歳以上への健康増進活動							
健康課題との関連		性差や年齢による健康課題							
分類									
注1)事業分類	計画	1- エ, 2, 5- コ	実施主体	計画	1. 健保 組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	1- エ, 2, 5- コ		実績	1. 健保 組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 50～（上限なし） 対象者分類 被保険者,基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 50～（上限なし） 対象者分類 被保険者,基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	オ, キ, ク, ケ	実施方法	計画	健康増進につながる測定会（個別指導を含む）・セミナー等を行い、事前アンケートや測定結果から自身の状態を把握してもらい健康課題の改善につなげる		予算額	4,000千円	
	実績	オ, キ, ク, ケ		実績	健康増進につながる測定会（個別指導を含む）・セミナー等を行い、事前アンケートや測定結果から自身の状態を把握してもらい健康課題の改善につなげる				

注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	事業主の協力を得て50歳以上の従業員に健康増進企画を展開する。	決算額	4,112 千円
	実績		実績	事業主の協力を得て50歳以上の従業員に健康増進につながる測定会（個別指導を含むもの）やセミナー等を行う		
実施計画 (令和6年度)	【目的】年齢による体力の衰え身体の変化を体感、学習し生活習慣に役立てる 【概要】50歳以上の従業員に健康増進活動につながる企画を展開（測定会・指導・セミナー等）、自分が意識している身体能力と測定値の差を認識することで生活習慣の改善に役立てる。					
振り返り	実施状況・時期 17事業所で実施約3000名 成功・推進要因 事業所との連携により実施できた 課題及び阻害要因					
評価	5．100%					
事業目標						
日々の生活習慣改善（運動習慣・食生活週刊）への行動変容につなげる						
アウトプット指標 参加事業所数（【令和5年度末の実績値】6事業所【計画値/実績値】令和6年度：6事業所/17事業所　【達成度】283.3%）FY23実績　6事業所930名参加[17事業所3000名参加]						
アウトカム指標						
運動習慣率（NML）（【令和5年度末の実績値】26.2%【計画値/実績値】令和6年度：28.0%/29.9%　【達成度】106.8%）第3期データヘルス計画指標　中計項目：8. 40歳以上の健康増進活動を推進、高齢者の増加に対応[-]						
外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する				
	実績	委託の有無	外部委託した			

	外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。
--	----------	---

20	事業名	電話相談（健康相談＆メンタル相談）									
健康課題との関連		メンタルヘルス不調者の低減									
分類											
注1)事業分類	計画	5-エ,5-ク,6	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存		
	実績	5-エ,5-ク,6		実績	1．健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員									
注2)プロセス分類	計画	エ,ス	実施方法	計画	従業員および家族の医療相談やメンタル疾患者の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止、また育児支援を目的とした窓口を24Hフリーダイヤル及びWebで受け付ける			予算額	4,950千円		
	実績	エ,ス		実績	加入者の従業員および家族の医療相談やメンタル疾患者の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止、また育児支援を目的とした窓口を24Hフリーダイヤル及びWebで受け付ける						
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	専門業者へ委託			決算額	4,787 千円		
	実績	シ		実績	専門業者へ委託						

実施計画 (令和6年度)	【目的】 緊急時や困り事の相談を行うことにより不安解消を図る 【概要】 医療相談やメンタル疾患者の患者本人・家族・その他関係者等の不安解消と疾病の重症化防止、また育児支援を目的とした窓口を24Hフリーダイヤルで受け付ける
振り返り	実施状況・時期 健康相談：640件（電話、web、対面相談） 成功・推進要因 健保メルマガ等でPRを行い登録者数は増えつつある 課題及び阻害要因 本事業への認知度が低いため、引き続き周知を進めていく
評価	3．60%以上

事業目標	
緊急時や困りごとの相談を行うことにより不安解消を図り、医療費の健全化につなげる	
アウトプット指標	利用件数（【令和5年度末の実績値】610件【計画値/実績値】令和6年度：610件/640件　【達成度】104.9%）利用件数　前年実績を目標とする[-]
アウトカム指標	なし (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する
	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

21	事業名	育児支援									
健康課題との関連		性差や年齢による健康課題									
分類											
注1)事業分類	計画	5-ケ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存		
	実績	5-ケ		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				

事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 0 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者					
	実績	対象事業所 全て 性別 女性 年齢 0 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者					
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	初産者へ育児書を毎月送付（1歳になるまで）	予算額	2,100千円
	実績	ス		実績	初産者へ育児書を毎月送付（1歳になるまで）		
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	専門業者へ委託	決算額	1,921 千円
	実績	シ		実績	専門業者へ委託		
実施計画 (令和6年度)		【目的】 初産者への子育て支援 【概要】 育児書を送付することで子育ての情報提供と健保との繋がりを継続させる					
振り返り	実施状況・時期		年間送付者数：608人				
	成功・推進要因		FY19業者選定を行い委託先を変更し紙面リニューアルを行った。				
	課題及び阻害要因		利用者満足度が測定できていない				
評価	4．80%以上						
事業目標							
毎月送付／年（対象者抽出）							
アウトプット指標		実施人数（【令和5年度末の実績値】609人【計画値/実績値】令和6年度：609人/608人 【達成度】99.8%）毎月、データを抽出し対象者を送る[-]					
アウトカム指標		なし (アウトカムは設定されていません)					
外部委託先	計画	株式会社 社会保険出版社（健康づくり事業）					
	実績	委託の有無	外部委託した				
		外部委託事業者	株式会社 社会保険出版社（健康づくり事業）				
22	事業名	講演会やセミナー開催					
健康課題との関連		健康意識の向上・生活習慣改善					

分類									
注1)事業分類	計画	2,5-ア, 5-イ,5- ウ,5- エ,5- オ,5- キ,5- ク	実施主体	計画	1. 健保 組合	予算科目	特定保健指導事業	新規・既存区分	既存
	実績	2,5-ア ,5-イ, 5-ウ,5 -エ,5- オ,5- キ,5- ク		実績	1. 健保 組合				
共同事業	共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない			
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員							
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	直営健診センターで年間計画（9回／年）し、活動のPRや参加者の分析などを行う		予算額	2,400千円	
	実績	ケ		実績	なし				
注3)ストラクチャー分類	計画	ア,ウ, コ	実施体制	計画	直営健診センターで計画する		決算額	0 千円	
	実績	ア,ウ, コ		実績	なし				
実施計画 (令和6年度)	【目的】 情報提供を通じ話題作りや生活習慣改善へ誘導する。ストレス軽減やメンタル予防にも効果を求める。 【概要】 直営健診施設（日産メディカル）にて健康づくりセミナーを年間計画に基づいて開催する。								
振り返り	実施状況・時期 未実施 成功・推進要因 未実施 課題及び阻害要因 未計画・未実施								
評価	1. 39%以下								
事業目標									

FY19より月報報告は行わないが年間計画を立て実施する

アウトプット指標 計画実施率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：90%/0% 【達成度】0.0%）計画実施率：90%以上[-]**アウトカム指標** なし
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	未定	
	実績	委託の有無	外部委託していなかった

23	事業名	ジェネリックの利用促進									
健康課題との関連		該当なし									
分類											
注1)事業分類	計画	7-ア, 7-イ, 7-ウ	実施主体	計画	1. 健保 組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存		
	実績	7-ア, 7-イ, 7-ウ		実績	1. 健保 組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者									
注2)プロセス分類	計画	キ, ク, ス	実施方法	計画	①差額通知年2回 ②高齢受給者証発行時に希望シールを同封 ③新規加入者へ健保ガイド ④新規加入者の被保険者証に希望シールを貼付			予算額	2,500千円		
	実績	キ, ク, ス		実績	①差額通知年2回 ②高齢受給者証発行時に希望シールを同封 ③新規加入者へ健保ガイド ④新規加入者の被保険者証に希望シールを貼付 注）保険証の発行終了に伴い、令和6年11月で終了						
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	外注化によりシステマチックに発送する			決算額	2,207 千円		
	実績	シ		実績	外注化により対象者の抽出から発送までを実施						

実施計画 (令和6年度)	【目的】調剤費の抑制を行い医療費の適正化を図る 【概要】①差額通知 年2回 ②高齢受給者証発行時に希望シールを同封 ③新規加入者へ健保ガイド ④新規加入者の被保険者証に希望シールを貼付
振り返り	実施状況・時期 ①差額通知2回送付（差額が500円以上の方へ送付） 1回目：4,210件（7月送付）、2回目：3,057件（2月送付）②啓発シール作成・送付③健保ガイド発行 成功・推進要因 対象者の抽出にあたり、前回の対象者と重複しないように選定。 課題及び阻害要因 令和6年10月より長期収載品の選定療養が始まり、ジェネリック割合は飛躍的に伸びた。今後は、バイオシミラーへの取り組みや岩盤層へのアプローチを検討。
評価	5．100%

事業目標	
2回／年 抽出条件：新薬から後発医薬品に切り替えること500円以上の差額が生じる方。（PepUp登録者等は除外）	
アウトプット指標	ジェネリック利用率（【令和5年度末の実績値】84.08%【計画値/実績値】令和6年度：84.08%/87.88% 【達成度】104.5%）ジェネリック利用率：前年以上を目標とする[-]
アウトカム指標	なし (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	株式会社JMDC（後発医薬品事業）	
	委託の有無	外部委託した	
	実績 外部委託先事業者	株式会社JMDC（後発医薬品事業）	

24	事業名	安心して治療に専念できる環境づくり（付加給付の充実）							
健康課題との関連		該当なし							
分類									
注1)事業分類	計画	8-イ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	その他	新規・既存区分	既存
	実績	8-イ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							

	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者					
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	①付加給付の充実 ②休業補償の補てん ③休業期間の延長	予算額	0千円
	実績	ス		実績	①付加給付の充実 ②休業補償の補てん ③休業期間の延長		
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	健保の通常業務として仕組みづくりができています	決算額	0千円
	実績	シ		実績	健保の通常業務として仕組みづくりができています		
実施計画 (令和6年度)	【目的】 安心して治療に専念できる環境づくり 【概要】 ①付加給付金の充実 ②休業補償の補てん ③休業補償期間の延長						
振り返り	実施状況・時期 ①②③ともに実施している。						
	成功・推進要因 ①②③ともに仕組みづくりができています						
	課題及び阻害要因 保険給付費全体の伸びに比例し、付加給付も大きく増加している						
評価	5 . 100%						
事業目標							
健全な運営の構築 ①付加給付金の充実 ②休業補償の補てん ③休業補償期間の延長							
アウトプット指標 付加給付金支給の達成率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）適正な付加給付金支給の達成率[-]							
アウトカム指標 なし （アウトカムは設定されていません）							
外部委託先	計画	未定					
	実績	委託の有無	外部委託していなかった				

25	事業名	利用者の満足度向上（3事業）									
健康課題との関連		生活のQOLの向上									
分類											
注1)事業分類	計画	8-イ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	既存		
	実績	8-イ		実績	1．健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者									
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	①日産診療所利用者満足度調査 ②日産メディカル（健診センター）利用者満足度調査 ③保養所利用者満足度調査			予算額	0千円		
	実績	ス		実績	①日産診療所利用者満足度調査 ②日産メディカル（健診センター）利用者満足度調査 ③保養所利用者満足度調査						
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	①日産診療所 ②日産メディカル ③保養所			決算額	0千円		
	実績	シ		実績	①日産診療所 ②日産メディカル ③保養所						
実施計画 (令和6年度)		目的】3つの事業における満足度を調査しそれぞれの目標と合計満足度を管理する 【概要】満足度5段階評価の5点のみ評価（5非常に満足） 全体満足度 ①日産診療所利用者満足度 ②日産メディカル（健診センター）満足度 ③保養所利用者満足度									
振り返り	実施状況・時期		①日産診療所利用者満足度年3回実施：平均90.4%②日産メディカル総合満足度：90.2%③保養所満足度：92%全体満足度 91%								
	成功・推進要因		①②③ともに月次報告を行い進捗管理を行っている。満足度が下がった月の原因を追究し対策を立てて取り組んでいる。								
	課題及び阻害要因		回収率が低いと結果に偏りがでる場合がある								
評価		5．100%									
事業目標											

全体満足度 BP:85%、TH:80%
 ①診療所 BP:85%、TH:80%
 ②メディカル BP:85%、TH:80%
 ③保養所 BP:90%、TH:85%

アウトプット指標

お客様総合満足度（5点満点の率）（【令和5年度末の実績値】90%【計画値/実績値】令和6年度：85%/92% 【達成度】108.2%）お客様総合満足度（5点満点の率）：BP:85%、TH:80%[-]
 診療所利用者満足度（【令和5年度末の実績値】89%【計画値/実績値】令和6年度：85%/90.4% 【達成度】105.9%）①診療所 BP:85%、TH:80%[-]
 日産メディカル利用者総合満足度（【令和5年度末の実績値】90%【計画値/実績値】令和6年度：85%/90.2% 【達成度】105.9%）②メディカル BP:85%、TH:80%[-]
 保養荘お客様満足度（【令和5年度末の実績値】91%【計画値/実績値】令和6年度：90%/94% 【達成度】104.4%）③保養所 BP:90%、TH:83%[-]

アウトカム指標

なし
 (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	未定
	実績	委託の有無 外部委託していなかった

26	事業名	データヘルス計画推進システムの構築									
健康課題との関連		該当なし									
分類											
注1)事業分類	計画	8-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	保健指導宣伝	新規・既存区分	既存		
	実績	8-イ		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 その他									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 その他									
注2)プロセス分類	計画	イ,ウ,キ,ク	実施方法	計画	①月報、けんこう宅配便（健診結果出力）、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料などで活用する。			予算額	3,200千円		

	実績	イ, ウ, キ, ク		実績	①月報、けんこう宅配便（健診結果出力）、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料などで活用する。		
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	必要な人が利用できる環境を整える	決算額	3,095 千円
	実績	シ		実績	必要な人が利用できる環境を整える		
実施計画 (令和6年度)		【目的】効果的な保健事業を行うため、保有データを有効活用する分析システムを導入する 【概要】レセプトと健診データ、適用情報など工数をかけずに分析を行う活用率／100%					
振り返り	実施状況・時期		月報、けんこう宅配便（健康年齢）、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料などで活用する。				
	成功・推進要因		レセプト・健診データ、適用情報など工数をかけずに分析を行うことが可能。				
	課題及び阻害要因		基幹システムとの整合性が課題 利用者権限を設けて広く波及させたい				
評価		5．100%					
事業目標							
①活用率／100% ②効果的な分析							
アウトプット指標							
活用率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100%　【達成度】100.0%）月報、けんこう宅配便（健診結果出力）、ジェネリック通知、事業所用けんこうレポート、組合会資料など[-]							
アウトカム指標		なし (アウトカムは設定されていません)					
外部委託先	計画	株式会社JMDC（データヘルス計画策定支援）					
		委託の有無	外部委託した				
		実績					

	外部委託先事業者	株式会社JMDC（データヘルス計画策定支援）
--	----------	------------------------

27	事業名	福利厚生（直営保養所・外部リゾート施設契約）									
健康課題との関連		生活のQOLの向上									
分類											
注1)事業分類	計画	8-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	直営保養所	新規・既存区分	既存		
	実績	8-イ		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員,任意継続者,その他									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員,任意継続者,その他									
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	①直営保養所 2カ所（直営と委託運営） ②法人契約施設 2社 ③その他契約施設（宿泊施設やレジャー施設など法人契約 40カ所）			予算額	0千円		
	実績	ス		実績	①直営保養所 2カ所（直営と委託運営） ②法人契約施設 2社 ③その他契約施設（宿泊施設やレジャー施設など法人契約 40カ所）						
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	①②専任の部門があり管理している			決算額	0千円		
	実績	シ		実績	①②専任の部門があり管理している						
実施計画 (令和6年度)		【目的】安価に利用可能な施設を保有することで、従業員および家族とOBにも心のリフレッシュを提供する 【概要】①直営保養所 2施設 ②契約施設 法人契約 2社 ③そのほか宿泊施設やレジャー施設など法人個別契約40か所以上									

振り返り	実施状況・時期	①②③は計画どおり実施できている。直営の利用客は19年の7割
	成功・推進要因	
	①は満足度調査および稼働率を毎月管理しており、委託先にも結果のフィードバックと改善策を都度もとめることで、福利厚生としての役割を常に意識し管理している。②契約を拡大したことで利用枠が拡大し多くの方の利用が可能になった。またキャンペーンなどの提案を促し集客に努めている。	
	課題及び阻害要因	①は、1荘（愛知県）を閉館して現在は2荘となったため関東圏のみ（神奈川と静岡）の保有となる
評価	4. 80%以上	

事業目標

安価に利用可能な施設を保有することで、従業員および家族とOBに心のリフレッシュを提供する。
①は事業所の研修や保健事業の施設提供などでも利用可能

アウトプット指標	
利用数（【令和5年度末の実績値】8,800人【計画値/実績値】令和6年度：8,800人/9,421人【達成度】107.1%）	①直営保養所の利用者数[利用者数9241人、室数：4171室 稼働率78%]
利用数（【令和5年度末の実績値】6,770人【計画値/実績値】令和6年度：6,770人/7,202人【達成度】106.4%）	②契約施設（法人契約） リゾートトラスト 利用者数[利用者数7202人 泊数：2348泊 室数：2625室]
利用数（【令和5年度末の実績値】1,979人【計画値/実績値】令和6年度：1,979人/2,006人【達成度】101.4%）	②契約施設（法人契約） 泉郷 利用者数[利用者数 2006人（延べ人数） 泊数744泊]
アウトカム指標	なし (アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	未定
	実績	委託の有無 外部委託した
	実績	外部委託先事業者 登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

28	事業名	健康相談（クリンタル）							
健康課題との関連		生活のQOLの向上							
分類									
注1)事業分類	計画	4-キ, 6	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	4-キ, 6		実績	1. 健保組合				
共同事業	共同事業ではない					PFS事業	PFS事業ではない		

事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員					
注2)プロセス分類	計画	実施方法	計画	アプリとウェブサイトで利用できる「看護師との健康相談チャット」および「医師紹介サービス」		予算額	7,600千円
	実績		実績	アプリとウェブサイトで利用できる「看護師との健康相談チャット」および「医師紹介サービス」			
注3)ストラクチャー分類	計画	実施体制	計画	けんぽホームページからまたはPepUpサイトから参加可能		決算額	7,429 千円
	実績		実績	けんぽホームページからまたはPepUpサイトから参加可能			
実施計画 (令和6年度)		アプリとウェブサイトで利用できる「看護師との健康相談チャット」および「医師紹介サービス」 FY20より継続					
振り返り	実施状況・時期		チャット相談件数 813件医師紹介利用者件数 21件				
	成功・推進要因		Web（一部IT)を活用することにより24Hいつでも相談可能な利便性がある。（看護師チャット+チャットBot）				
	課題及び阻害要因		健康相談に関しては重複する事業があり、利便性・利用者数から本事業はFY24限りとする				
評価	2．40%以上						
事業目標							
利用件数 前年以上							
アウトプット指標		利用件数（【令和5年度末の実績値】1,409件【計画値/実績値】令和6年度：1,409件/813件 【達成度】57.7%）FY23利用件数 1409件[-]					
アウトカム指標		なし (アウトカムは設定されていません)					
	計画	登録されていないサービスを利用する					
	委託の有無	外部委託した					
外部委託先		実績					

	外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。
--	----------	---

29	事業名	ポリファーマシー対策							
健康課題との関連		該当なし							
分類									
注1)事業分類	計画	4-キ, 4-ケ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存
	実績	4-キ, 4-ケ		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業	PFS事業ではない			
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	ク	実施方法	計画	対象者を抽出し注意喚起の案内を自宅配布する		予算額	11,000千円	
	実績	ク		実績	対象者を抽出し注意喚起の案内を自宅配布する				
注3)ストラクチャー分類	計画	ウ	実施体制	計画	専門事業者との連携により対象者を抽出する。また、全期間対象ではないので、今後は通院時期をずらした活動を行い、全期間を通じて発行できるスキームを構築する		決算額	8,712 千円	
	実績	ウ		実績	専門事業者との連携により対象者を抽出する。また、全期間対象ではないので、今後は通院時期をずらした活動を行い、全期間を通じて発行できるスキームを構築する				
実施計画 (令和6年度)		対象者を抽出し注意喚起の案内を自宅配布する 3年目となる今年は、対象者を拡大し、年度を通して発行できるスキームを構築する。							

振り返り	実施状況・時期
	薬剤による副作用や健康被害の可能性がある利用者を検出し課題の大きいもの順に並べて対象者を選定した。3年目の今年は、年度内3度の発送を行えるようにスキームを変更し、対象期間を拡大した。
	成功・推進要因 通知書送付後に改善を促すフォローを強化して結果をだした。対象者が通知後に減薬になっていることを確認できている。
	課題及び阻害要因
	多剤や禁忌の組み合わせなどを抽出しているが、医師が承知で処方している場合もあるため、事業に理解できない問い合わせがある場合がある。（医師の指示なら問題ないと回答している）
評価	4．80%以上

事業目標

医療費適正化事業として効果検証を行う

アウトプット指標 計画実施率（【令和5年度末の実績値】100%【計画値/実績値】令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）FY22対象者を拡大し1回以上実施 1回→100%[-]

アウトカム指標

医療費低減効果（【令和5年度末の実績値】3,000,000円【計画値/実績値】令和6年度：3,000,000円/105,190,000円 【達成度】3,506.3%）事業前と事業後で効果検証（医療費低減費）する[-]

外部委託先	計画	株式会社メディアラート（その他の業務支援）	
	委託の有無	外部委託した	
	実績 外部委託先事業者	株式会社メディアラート（その他の業務支援）	

30	事業名	重症化予防									
健康課題との関連		生活習慣病の予防と重症化の予防									
分類											
注1)事業分類	計画	4-キ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	既存		
	実績	4-キ		実績	1．健保組合						

共同事業		共同事業ではない		PFS事業	PFS事業ではない	
事業の内容						
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者				
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 18 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者				
注2)プロセス分類	計画 イ， エ， キ， ク， ケ	実施方法	計画	①定めた基準該当者を抽出しかかりつけ医の承諾を得て生活習慣改善指導を行い、リスクの改善を測定する ②高血糖、高血圧の基準該当者を抽出し、ICTによる面談および持続血糖測定器や血圧計を付与し、個別支援を行う。	予算額	18,000千円
	実績 イ， エ， キ， ク， ケ		実績	①定めた基準該当者を抽出しかかりつけ医の承諾を得て生活習慣改善指導を行い、リスクの改善を測定する ②高血糖、高血圧の基準該当者を抽出し、ICTによる面談および持続血糖測定器や血圧計を付与し、個別支援を行う。		
注3)ストラクチャー分類	計画 ア， ウ	実施体制	計画	①対象者抽出は内製で行い、事業所の協力を得て対象者へアプローチし、活動受諾者は外注業者へ連絡して、専門職による保健指導および主治医との連携を経て生活習慣改善を促す。 ②事業所から対象者に対し、案内を渡してもらい、申込者には指導会社より保健指導を実施する。	決算額	5,330 千円
	実績 ア， ウ		実績	①対象者抽出は内製で行い、事業所の協力を得て対象者へアプローチし、活動受諾者は外注業者へ連絡して、専門職による保健指導および主治医との連携を経て生活習慣改善を促す。 ②事業所から対象者に対し、案内を渡してもらい、申込者には指導会社より保健指導を実施する。		
実施計画 (令和6年度)		①FY21の健診結果で対象者抽出を行い、事業所と連携して活動参加の連絡を行う。通院者で既往歴のあるもの（再発防止）やハイリスク者（重症化防止）を抽出する。保健指導は外注業者へ委託する。活動後の数値変化や通院状況等継続して追っていく。 ②FY24健診結果から対象者抽出を行い事業所より担当者へ案内を配布してもらう。申込者には指導会社より3か月間の保健指導を実施する。				

振り返り	実施状況・時期
	①案内発送：9月 全事業所に向けに事業開始前に事業成果も含めた説明会を行い事業所担当者の理解は得られたが、今回で5回目の実施となり、3回のリマインドを行ったが対象者が重複してきていることから参加者が伸び悩んだ。 ②案内発送：11月～ 1-2か月後にリマインド実施
	成功・推進要因 ①事業所向けに説明会と成果報告を行ったことで、担当者の理解のもと事業を展開できた。参加リマインドやフォローについて事業所の協力があつた ②事業所担当者から対象者へ直接声かけしてくれたため、参加者増に寄与した。
	課題及び阻害要因 ①年々対象者が重複してくることで参加率の低下が危惧される。事業展開に効果的なターゲット層について検討を要す。 ②若年層の有所見者率が上がっていることから、次年度以降は若年層に限定し、特定保健指導への新規編入防止を目指す。
評価	5. 100%

事業目標

保健指導のスキームは委託業者が行うが、案内文章や参加方法など知恵を出して参加率向上をめざす。また、対象者抽出は内製で行い費用低減を図る

アウトプット指標 参加率（【令和5年度末の実績値】12.3%【計画値/実績値】令和6年度：16%/12.7% 【達成度】79.4%）プログラム参加者率 BP:16%、TH:11%[-]

アウトカム指標 なし
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	株式会社PREVENT（データヘルス計画策定支援）
	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	株式会社PREVENT（データヘルス計画策定支援）

31	事業名	データの有効活用									
健康課題との関連		該当なし									
分類											
注1)事業分類		計画	8-イ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規	
		実績	8-イ		実績	1. 健保組合					

共同事業		共同事業ではない		PFS事業		PFS事業ではない	
事業の内容							
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0 ～ （上限なし） 対象者分類 基準該当者					
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0 ～ （上限なし） 対象者分類 その他					
注2)プロセス分類	計画	ス	実施方法	計画	重症化予防の対象者選定や効果検証等で専門的な分析が必要な時に活用する	予算額	4,182千円
	実績	ス		実績	重症化予防の対象者選定や効果検証等で専門的な分析が必要な時に活用する		
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	必要な時点で体制を整え検討する	決算額	0 千円
	実績	シ		実績	必要な時点で体制を整え検討する		
実施計画 (令和6年度)		保健事業に関わる、データを活用した分析の依頼 ロコモ測定データとレセプトおよび健診データを突合し転倒や筋力低下などからなる労働災害の防止に役立てる					
振り返り	実施状況・時期 必要なデータをそろえ、必要な契約を締結して分析を依頼する。						
	成功・推進要因 ロコモ分析に至る準備を各方面と充分な連携をとりながら進めていくことが重要。概ね契約書の締結は終了した						
	課題及び阻害要因 各方面の充分な理解が不可欠						
評価	4．80%以上						
事業目標							
より効果的な保健事業を行うためのデータ分析を行う							
アウトプット指標 計画実施率（【令和5年度末の実績値】-【計画値/実績値】 令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）大学にデータ分析を依頼する[-]							
アウトカム指標 -							
外部委託先	計画	株式会社メディアラート（データヘルス計画策定支援）					
	実績	委託の有無	外部委託した				

	外部委託先事業者	株式会社メディアラート（データヘルス計画策定支援）
--	----------	---------------------------

32	事業名	新：医科歯科連携の包括的な健康づくり実現に向けた口腔ケアの現状把握と促進に関する事業（共同事業）									
健康課題との関連		生活習慣病の予防と重症化の予防									
分類											
注1)事業分類	計画	4-オ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規		
	実績	4-オ		実績	1．健保組合						
共同事業		共同事業である				PFS事業	PFS事業ではない				
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 その他									
注2)プロセス分類	計画	ウ	実施方法	計画	歯科レセを用いた口腔ケアの現状把握をするため医科歯科連携分析システム（仮称）の試験運用を実施する			予算額	0千円		
	実績	ウ		実績	歯科レセを用いた口腔ケアの現状把握をするため医科歯科連携分析システム（仮称）の試験運用を実施する						
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	共同事業として歯科コンソーシアムに参加し、システムの構築するための会議体に参加する			決算額	0千円		
	実績	シ		実績	共同事業として歯科コンソーシアムに参加し、システムの構築するための会議体に参加する						
実施計画 (令和6年度)		コンソーシアムに参加し意見交換を行う									
振り返り	実施状況・時期		歯科健診についてこれまでの実施経緯や課題などを共有しシステムの開発に意見した								
	成功・推進要因		歯科健診のスキームや利用状況、歯科レセからわかるデータについてなど意見した								
	課題及び阻害要因		データは提供していない								
評価		3．60%以上									
事業目標											

医科歯科連携分析システムの開発

アウトプット指標

計画実施率（【令和5年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和6年度：80%/60% 【達成度】 75.0%）コンソーシアムの会議体に参加する 参加率80%を目標とする[最終段階でシステムの利用とデータの提供はしていない]

アウトカム指標

なし
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計画	登録されていないサービスを利用する
	委託の有無	外部委託した
	実績 外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

33	事業名	新：子どもを通して家族の健康と生活習慣改善を見直す保健事業（共同事業）									
健康課題との関連		性差や年齢による健康課題									
分類											
注1)事業分類	計画	2,5-I	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規		
	実績	2,5-I		実績	1. 健保組合						
共同事業		共同事業である				PFS事業		PFS事業ではない			
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 10～10 対象者分類 基準該当者									
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 10～10 対象者分類 基準該当者									

注2)プロセス分類	計画	ク、ケ	実施方法	計画	親子参加型オンライン健康ワークショップの開催 (家族向け保健指導、働き方と健康課題の紹介を含む) アンケート等による健康意識や行動変容等の把握	予算額	1,000千円
	実績	ク、ケ		実績	親子参加型オンライン健康ワークショップの開催 (家族向け保健指導、働き方と健康課題の紹介を含む) アンケート等による健康意識や行動変容等の把握		
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	共同事業に参加し、対象者を選定して案内を自宅配布する。ワークショップの参加も推進する。	決算額	1,178 千円
	実績	シ		実績	共同事業に参加し、対象者を選定して案内を自宅配布する。ワークショップの参加も推進する。		

実施計画 (令和6年度)	子どもを通して家族の健康を考える機会を作る 子どもを通して悪い生活習慣や健康問題の行動変容を促す 健康づくりを契機に家族の働き方への理解も深める	
振り返り	実施状況・時期	子供を通じて家族が健康に関するリテラシーを向上させる施策のトライアルとして小学5年生を対象に共同事業に参加した。補助金も利用できる。
	成功・推進要因	WSへの参加は振るわなかったが、昨年未健診の母親が今年度健診をした実績を評価する
	課題及び阻害要因	PepUp未登録者が冊子送付後Pep登録したか？検証したが、未登録800名のうち、8月9月の登録者は19名であった。効果は期待通りではなかった。
評価	3．60%以上	

事業目標

家族の健康リテラシー向上

アウトプット指標	
ワークショップ参加率（【令和5年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和6年度：10%/0.6% 【達成度】 6.0%）対象者は小学4年生としてけんぽだよりを送付しワークショップへの参加促進を行う[WS参加者11名/送付者1809名]	
アウトカム指標	
被扶養者の検診促進（【令和5年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和6年度：10%/9.7% 【達成度】 97.0%）けんぽだよりを送った対象者で前年の未健診者がFY24で検診実施した率を測定する[妻がFY23未健診670名のうちFY24/8月以降の健診者65名]	

外部委託先	計画	株式会社 社会保険出版社（健康づくり事業）
	委託の有無	外部委託した
実績		

	外部委託先事業者	株式会社 社会保険出版社（健康づくり事業）
--	----------	-----------------------

34	事業名	新：抗菌薬の適正服薬の啓発							
健康課題との関連		性差や年齢による健康課題							
分類									
注1)事業分類	計画	4-キ, 4-ケ, 5-ケ, 5-サ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	4-キ, 4-ケ, 5-ケ, 5-サ		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業ではない			PFS事業		PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 6～12 対象者分類 基準該当者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 6～12 対象者分類 基準該当者							
注2)プロセス分類	計画	イ, ク	実施方法	計画	抗菌薬の適切服薬を案内するちらしを対象者に自宅送付する		予算額	1,000千円	
	実績	イ, ク		実績	抗菌薬の適切服薬を案内するちらしを対象者に自宅送付する				
注3)ストラクチャー分類	計画	シ	実施体制	計画	業務委託して行う		決算額	1,394 千円	

	実績	シ		実績	業務委託して行う。問い合わせ対応として期間を決めテレフォンセンターを用意する。				
実施計画 (令和6年度)		対象者を抽出し注意喚起のちらしを送付する（年1回）							
振り返り		実施状況・時期		対象者選定を行い1300名に抗菌薬の適正な使用についての案内を自宅送付した。問い合わせ殺到かと懸念したが問い合わせ件数は0であった。					
		成功・推進要因		抗菌薬を使用している実績がある 6 歳～12歳を対象にしたことで注意喚起ができたとおもう。					
		課題及び阻害要因		問い合わせ0については、関心がないのか？わかっていたのか？検証できてはいない。					
評価		4．80%以上							
事業目標									
抗菌薬の適切な服用（こども対象）、耐性菌の抑制									
アウトプット指標		計画実施率（【令和5年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和6年度：100%/100% 【達成度】 100.0%）対象者に啓発チラシを送付する 年1回[-]							
アウトカム指標		なし (アウトカムは設定されていません)							
外部委託先		計画	株式会社メディアラート（その他の業務支援）						
		委託の有無	外部委託した						
		実績 外部委託先事業者	株式会社メディアラート（その他の業務支援）						

35	事業名	新：オンライン女性の健康課題教室（共同事業）							
健康課題との関連		性差や年齢による健康課題							
分類									
注1)事業分類	計画	2, 5-ケ	実施主体	計画	1．健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	2, 5-ケ		実績	1．健保組合				
共同事業		共同事業である				PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員,任意継続者							

	実績	対象事業所 全て性別 男女年齢 0～（上限なし）対象者分類 加入者全員,任意継続者					
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	健保発信のHPやメルマガ、PepUp、けんぽニュースなどを利用して健康づくり教育（オンライン教室）への自発的な参加をサポートする	予算額	500千円
	実績	ケ		実績	健保発信のHPやメルマガ、PepUp、けんぽニュースなどを利用して健康づくり教育（オンライン教室）への自発的な参加をサポートする		
注3)ストラクチャー分類	計画	ク	実施体制	計画	ふれあい健康事業推進協議会に加入し、テーマごとに開催されている健康教室を利用する	決算額	45 千円
	実績	ク		実績	ふれあい健康事業推進協議会に加入し、テーマごとに開催されている健康教室を利用する		
実施計画 (令和6年度)	ふれあい健康事業推進協議会と契約し、介護支援・女性特有の健康問題などをテーマに開催されている健康教室の参加を募る。全国・年間を通じて活動をしている。						
振り返り	実施状況・時期		共同事業ですすでに実績があるふれあい事業に参画し、女性の健康についての教育コースの申込者をカウントした。				
	成功・推進要因		アンケートでは、わかりやすく新しい情報を得たとのコメントがあった				
	課題及び阻害要因		参加者は少なく予算に対して10%程度であった				
評価	2．40%以上						
事業目標							
参加者数 年間延べ50人							
アウトプット指標 参加者数（【令和5年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和6年度：50人/10人 【達成度】 20.0%）テーマごとの健康教室での参加人数を述べ人数で計算する。[-]							
アウトカム指標							
がん医療費（女性特有のがん）（【令和5年度末の実績値】 57.8万円【計画値/実績値】 令和6年度：57.8万円/57.6万円 【達成度】 100.3%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：10．女性の健康課題をサポート[-]							
外部委託先	計画	未定					
	実績	委託の有無	外部委託した				

	外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。
--	----------	---

36	事業名	新：オンライン介護教室（共同事業）							
健康課題との関連		生活のQOLの向上							
分類									
注1)事業分類	計画	5-セ	実施主体	計画	1. 健保組合	予算科目	疾病予防	新規・既存区分	新規
	実績	5-セ		実績	1. 健保組合				
共同事業		共同事業である				PFS事業	PFS事業ではない		
事業の内容									
対象者	計画	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員,任意継続者							
	実績	対象事業所 全て 性別 男女 年齢 0～（上限なし） 対象者分類 加入者全員,任意継続者							
注2)プロセス分類	計画	ケ	実施方法	計画	健保発信のHPやメルマガ、PepUp、けんぽニュースなどを利用して健康づくり教育（オンライン教室）への自発的な参加をサポートする		予算額	500千円	
	実績	ケ		実績	健保発信のHPやメルマガ、PepUp、けんぽニュースなどを利用して健康づくり教育（オンライン教室）への自発的な参加をサポートする				
注3)ストラクチャー分類	計画	ク	実施体制	計画	ふれあい健康事業推進協議会に加入し、テーマごとに開催されている健康教室を利用する		決算額	281 千円	
	実績	ク		実績	ふれあい健康事業推進協議会に加入し、テーマごとに開催されている健康教室を利用する				
実施計画 (令和6年度)		ふれあい健康事業推進協議会と契約し、介護支援・女性特有の健康問題などをテーマに開催されている健康教室の参加を募る。全国・年間を通じて活動をしている。							
振り返り	実施状況・時期		共同事業ですすでに実績があるふれあい事業に参画し、介護についての教育コースの申込者をカウントした。						
	成功・推進要因		アンケートでは、わかりやすく新しい情報を得たとのコメントがあった。教育コースの中では、一番人気があるコースであった。						
	課題及び阻害要因		参加者は予算に対して70%程度であった						
評価		3. 60%以上							
事業目標									

参加者数 年間延べ50人

アウトプット指標 参加者数（【令和5年度末の実績値】 - 【計画値/実績値】 令和6年度：50人/37人 【達成度】 74.0%）テーマごとの健康教室での参加人数を述べ人数で計算する。[-]**アウトカム指標** なし
(アウトカムは設定されていません)

外部委託先	計 画	登録されていないサービスを利用する	
	委 託 の 有 無	外部委託した	
	実 績	外部委託先事業者	登録されていないサービスを利用した ※データヘルス・ポータルサイトに登録されていないサービスを利用した場合には、評価の入力はできません。評価を入力する場合には、事業者にてデータヘルス・ポータルサイトに登録いただくようお願いください。

37	事業名	新：メンタル不調者の低減（３者ワンチーム活動）									
健康課題との関連		メンタルヘルス不調者の低減									
分類											
注1)事業分類	計画	5-キ	実施主体	計画	3．健保組合と事業主との共同事業	予算科目	(予算措置なし)	新規・既存区分	新規		
	実績	5-キ		実績	3．健保組合と事業主との共同事業						
共同事業		共同事業ではない				PFS事業		PFS事業ではない			
事業の内容											
対象者	計画	対象事業所 母体企業 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 被保険者									
	実績	対象事業所 母体企業 性別 男女 年齢 18～（上限なし） 対象者分類 被保険者									

注2)プロセス分類	計画	イ	実施方法	計画	メンタル不調者にかかわるデータを紐づけ、傾向を分析する	予算額	0千円
	実績	イ		実績	メンタル不調者にかかわるデータを紐づけ、傾向を分析する		
注3)ストラクチャー分類	計画	ア , イ , ケ	実施体制	計画	事業者・健保・産業保健スタッフが連携しメンタル不調者の低減にむけた会議体を実施する	決算額	0千円
	実績	ア , イ , ケ		実績	事業者・健保・産業保健スタッフが連携しメンタル不調者の低減にむけた会議体を実施する		
実施計画 (令和6年度)	データを持ち寄り、各部門の担当者の話し合いの場を設ける。						
振り返り	実施状況・時期 事業者・健保・産業保健スタッフが連携しメンタル府庁舎の低減に向けた会議体を実施した。データ分析を行った上で情報を共有した。（分析結果のみ共有）						
	成功・推進要因 傾向は把握できた。						
	課題及び阻害要因 施策の実施には至らなかった。						
評価	4．80%以上						
事業目標							
メンタル不調者の傾向を分析するため、3者のデータを持ち寄って傾向をさぐり、メンタル不調になる前に診療所や事業主がアクションできる施策へ繋げる							
アウトプット指標 計画実施率（【令和5年度末の実績値】-【計画値/実績値】 令和6年度：100%/100% 【達成度】100.0%）年1回以上[-]							
アウトカム指標 メンタル不調者の低減（【令和5年度末の実績値】25.1%【計画値/実績値】 令和6年度：22.1%/25.0% 【達成度】88.4%）目標：メンタル受療者の低減 前年よりー3% 2023/3月末 けんこうレポートより25.1%[2024/3月末 けんこうレポートより 25.0%] メンタル受療率（【令和5年度末の実績値】12.5%【計画値/実績値】 令和6年度：12.5%/12.9% 【達成度】99.2%）第3期データヘルス計画指標 中計項目：9．メンタルヘルスをサポート ㊼参照被保険者（全年齢）[-]							
外部委託先	計画	未定					
	実績	委託の有無	外部委託していなかった				

- 注1) 1. 職場環境の整備 2. 加入者への意識づけ 3. 健康診査 4. 保健指導・受診勧奨 5. 健康教育 6. 健康相談 7. 後発医薬品の使用促進 8. その他の事業
- 注2) ア. 加入者等へのインセンティブを付与 イ. 受診状況の確認（要医療者・要精密検査者の医療機関受診状況） ウ. 受診状況の確認（がん検診・歯科健診の受診状況） エ. I C Tの活用 オ. 専門職による健診結果の説明
カ. 他の保険者と共同で集計データを持ち寄って分析を実施 キ. 定量的な効果検証の実施 ク. 対象者の抽出（優先順位づけ、事業所の選定など） ケ. 参加の促進（選択制、事業主の協力、参加状況のモニタリング、環境整備）
コ. 健診当日の面談実施・健診受診の動線活用 サ. 就業時間内も実施可（事業主と合意） シ. 保険者以外が実施したがん検診のデータを活用 ス. その他
- 注3) ア. 事業主との連携体制の構築 イ. 産業医または産業保健師との連携体制の構築 ウ. 外部委託先の専門職との連携体制の構築 エ. 他の保険者との健診データの連携体制の構築 オ. 自治体との連携体制の構築 カ. 医療機関・健診機関との連携体制の構築
キ. 保険者協議会との連携体制の構築 ク. その他の団体との連携体制の構築 ケ. 保険者内の専門職の活用（共同設置保健師等を含む） コ. 運営マニュアルの整備（業務フローの整理） サ. 人材確保・教育（ケースカンファレンス／ライブラリーの設置）
シ. その他